

育教の兒幼

號八第 號月八 卷九十二第



內校學範師等高子女京東
會協園稚幼市日

廣島高等師範學校教授
文部博士
久保良英
先生新著

兒童研究所紀要 卷十二

大判洋裝全一冊
定價金圓五百二十錢
送料金圓八拾錢

教育的に先進國たる歐米諸國に於ては、既に將來國家の構成に重要な位置を占むべき兒童を心理的、生理學的に研究して、其効果なる學理的、實行的、巨額の收めんと企て、右施設に今日獨り我邦に、該機關の絶無なるを慨し、久保博士等同志が私財を投じて設立せる「兒童研究所」の發表は、恒に現代教育の根本的權威、最新智囊として學界に推獎せらるる

二十卷內容目次

- | | | | | | | | |
|-------------------------------------|--|--|---|---|--|---|---|
| 性行検査法の試み
——個性調査の情意的な一面——
久保良英 | 兒童の身體的及精神的に發育に及ぼす季節的影響の研究
——個性調査の情意的な一面——
文部博士、文部士
久保良英 | 精神發達に應ずる轉導及應時間の變化
——個性調査の情意的な一面——
文部博士、文部士
久保良英 | 尋常小學校に於ける算術應用問題の分類
——個性調査の情意的な一面——
文部博士、文部士
久保良英 | 一般智能検査の再検査成績
——個性調査の情意的な一面——
文部博士、文部士
久保良英 | 入學當初智能検査に關する研究的考察一二
——個性調査の情意的な一面——
文部博士、文部士
久保良英 | 青年期に於ける自己意識に就て
——個性調査の情意的な一面——
文部博士、文部士
久保良英 | 海外新著論文抄録
——個性調査の情意的な一面——
文部博士、文部士
久保良英 |
|-------------------------------------|--|--|---|---|--|---|---|

兒童研究所紀要

- | | | |
|--|---|---|
| 1234合輯
洋綴・背皮・紙數一千百餘頁
定價九圓五拾錢送料五拾四錢 | 567合輯
洋綴・背皮・紙數千貳百餘頁
定價拾圓五拾錢送料五拾四錢 | 8910合輯
洋綴・背皮・紙數二千五百餘頁
定價拾圓五拾錢送料五拾四錢 |
|--|---|---|

智能查定用具

團體的智能検査用紙

ボウル紙型箱入
一組參圓送料拾八錢
智能の査定が手軽に出来る。兒童研究所紀要の實際的研究唯一の用具。

本用紙は久保先生の考案になる兒童智能検査用紙團體的用



育教の兒幼 輯編會協園稚幼本日

會長 吉岡 甫

東京女子高等師範學校長
東京女子高等師範學校教授
附屬幼稚園主事

堀 七 藏

日本幼稚園協會規則

- 第一條 本會ハ幼兒教育ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ日本幼稚園協會ト稱ス
- 第三條 會員タラントスルモノハ幼稚園ニ關係アルモノ又ハ幼兒教育ニ篤志ナルモノトス
- 第四條 會員ハ會費トシテ一ケ月金參拾五錢ヲ齎出スヘシ
- 第五條 令聞名望アル人ニシテ本會ノ事業ニ裨益アリト認ムルトキハ特ニ請ヒテ客員トナスコトアルベシ
- 第六條 幼稚園ニ關係アルモノニシテ本會ノ事業ノ爲ニ特ニ盡力ヲ與ヘラル、モノニ請ヒテ地方委員トナスコトアルベシ
- 第七條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク。但場合ニヨリ臨時休會スルコトヲ得
- 第八條 本會ハ左ノ事業ヲ行フ
- 一、幼兒教育ニ關スル研究及ビ調査
- 一、幼兒教育ニ關スル講演會及ビ講習會ノ開催
- 一、雜誌發行(毎月一回)
- 一、幼兒教育ニ關スル圖書刊行
- 一、保姆就職及招聘ニ關スル仲介
- 一、其也本會ノ目的ニ裨益アリト認メタル事件
- 第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- 會長 一名 會務ヲ總理ス
- 主幹 一名 會長ヲ補佐シテ會務ヲ掌理ス
- 幹事 若干名 會長ノ指揮ヲ受ケ會務ヲ分掌ス
- 評議員 若干名 重要ナル事件ニ關シ會長ノ諮詢ニ應ズ
- 第十條 會長ハ客員中ヨリ推薦スルモノトス
- 第十一條 主幹 幹事 評議員ハ二ケ年ヲ期シテ會長ヨリ推舉スルモノトス
- 第十二條 本會ハ必要ニ應シ特ニ委員ヲ設ケ又ハ書記ヲ雇入ル、アトアルヘシ
- 第十三條 本規則ハ總會出席會員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニアラザレハ變更スルコトヲ得ズ



號八第 育教の兒幼 卷九十二第

—(次 目)—

口 繪	シカゴ幼稚園	
保 育 の 榮	豐 田 芙 雄 子 二
私の視察したる米國の幼稚園教育(シカゴの卷) 堀	七 藏 二
保育座談會(第二回)	二四
幼稚園問題に關するデューキー氏の意見 (一) 大 塚 喜 一 譯	三三
忘れてならぬ誘導的効果 和 田 實	三九
幼兒の遊園 井 下 清	四三
狐 火 水 谷 年 惠	四九
童話の翻譯 長 尾 豐	五四
夏期休暇中に採集せし自然物に就て 膳 眞 規 子	五八
幼兒のお友達になつてゐる自然	六一

女子學習院 岡野 榮・丹羽禮介先生共著

永成

美有圖案不集描方

菊彩作定送
葉二十三畫金價料
餘有千二圓四金
錢十八圓廿七錢

寫生、略畫、水、
レヨン、畫、等、
彩、圖、案、等、
學校美術教育の
大展覽

唯單に寫生のみを圖畫教育の目標とするのは大なる錯誤です。更に觀察力、考察力、鑑賞力、着想の妙、色調の美、表現の技法、應用の力、之等を啓發培養してこそ其本來の目的を達するものと共に他面又圖畫科は他の學科とよく關聯して直觀教授や實物教授の能力を發揮し得る譯です。本畫集は之等の目的に於て小學の各學年の各學科の修身、國語、歴史、理科、地理等の國定教科書の綜覧に於て小學の各學年の各學科の國畫、毛筆、ペン、の略畫の三種に依つて描く所無慮千數百、而して卷頭數十頁に亘りその描方と各科に對する應用の方法を全科に亘り實物教材として其應用は實に自由自在です。初等教育家及び一般家庭の御心備御推薦を乞ふ。

新刊 學校圖畫描のき方 基本と其の集
定價 全一冊 洋錢 二四五十錢
送料 十八錢

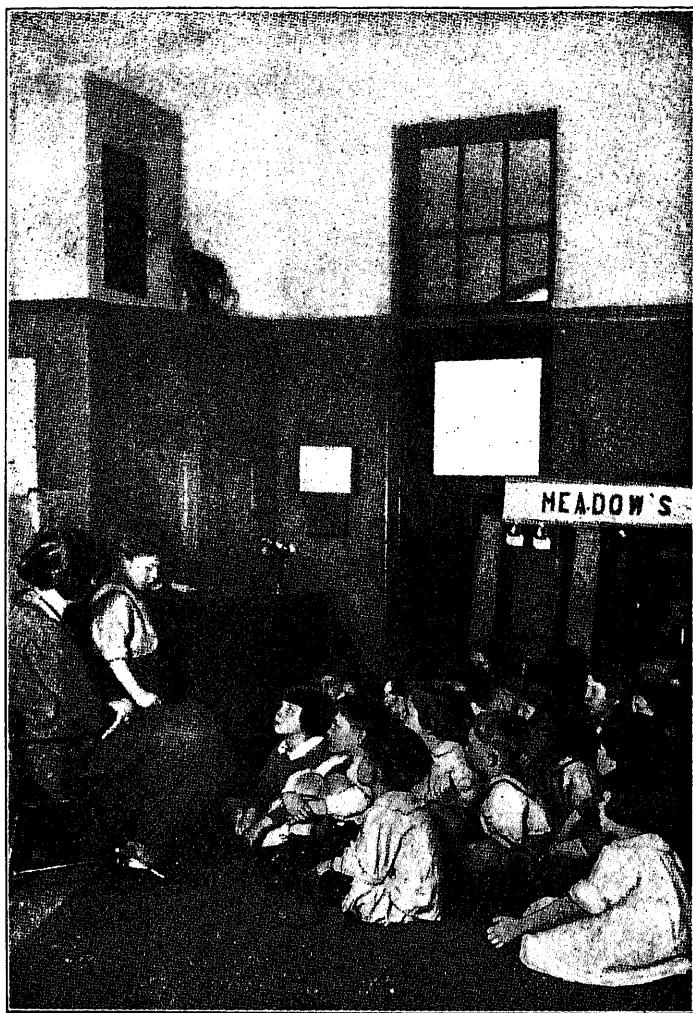
三版 學校應用略畫集と其の描き方
定價 全一冊 洋錢 三十四十錢
送料 十八錢

六版 學校應用略畫集と其の描き方
定價 全一冊 洋錢 三十四十錢
送料 十八錢

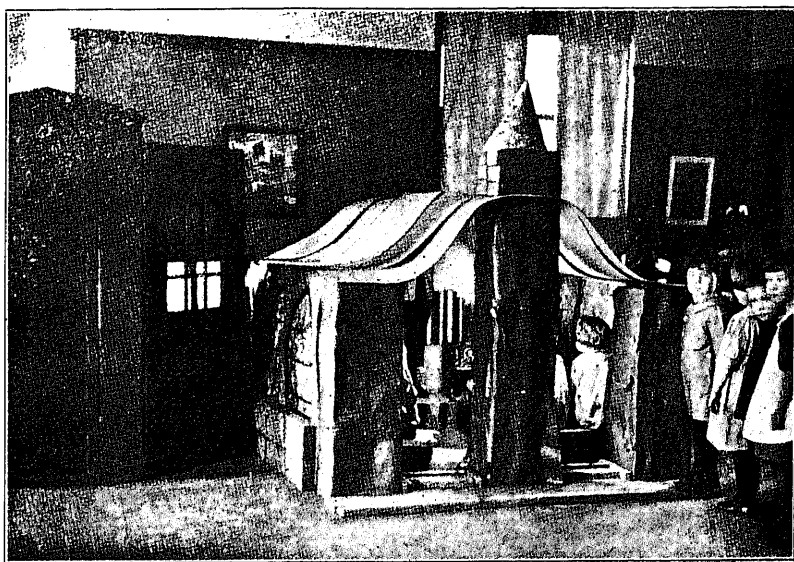
五版 學校應用圖案畫集と其の描き方
定價 全一冊 洋錢 三十四十錢
送料 十八錢

新刊 學校手工學習指導
定價 一冊 洋錢 八十錢
送料 十八錢

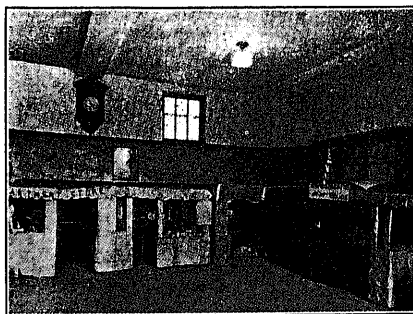
發行所 東京市牛車水區 中興文館 電話 三三八三 牛車水區 三三八三 番 五二七 番 七二四



その日の仕事を相談するところ（シカゴ幼稚園）



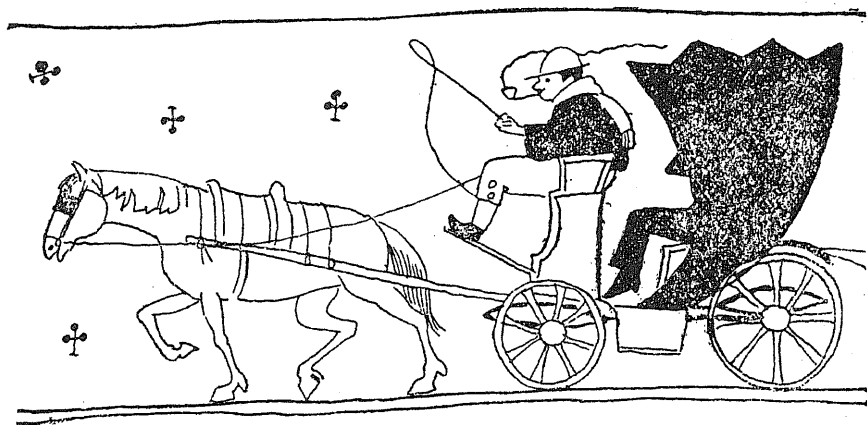
シカゴ幼稚園の教會



郵便局（シカゴ幼稚園内に出来てゐる）



デパートメントストア
（シカゴ幼稚園保育室内に出来てゐる）



號八第 育 教 の 兒 幼 卷九十二第

月 八 年 四 和 昭

一、教育で家庭教育位重要なものではありません。家庭教育の良否は實に人一生を支配し國家の發展を左右するのであります。最近の學術は益々家庭教育の重大なる使命を立證し近時の社會現象は善良なる家庭教育の必要を痛感せしめてゐます。

一、家庭教育の短を補ひ幼兒の心身を充分に發達せしめ將來受くべき學校教育の基礎を築くものは幼稚園保育であります。幼稚園保育の重視すべきことは天下一人も異議がないのであります。

一、幼兒の教育は本邦唯一の幼稚園保育に關する發表機關であります。而してまた本邦唯一の家庭教育雜誌であります。

一、幼兒の教育は幼兒の教育、即ち家庭に於ける教育と幼稚園に於ける教育、更に小學校初學年教育に關する事項は細大となく網羅し、以て家庭教育の向上を計り、幼稚園保育の進歩發展を期する大抱負をもつて産れたものであります。

豊田英雄女史手記「保育の栞」

我國最初の幼稚園保姆豊田英雄女史の名は讀者の疾くに熟知せらるゝところ、去年夏、私が同女史を水戸の寓にお訪ねした時の記事も、其の後本會が東京にお迎へして、幼稚園懷舊談話會を催した時の記事も、嘗て本誌に掲げて置いた。この「保育の栞」は、同女史が保姆たりし當時の手記にかゝるものであつて、我國最初の保育論の一つである。特に女史の許しを乞ふて、こゝに本誌に紹介することを得るは、獨り本誌の幸であるばかりでなく、我國幼稚園教育史に興味を有せらるゝ諸君の爲に、極めて有益なる資料であると信ずる。殊に文中には、今日の幼稚園としても大に學ぶべきものが尠なくない。眞理は古くして新らしいことを思はしめるのである。茲に女史の好意を感謝すると共に、一言を添へる次第である。(倉橋惣三)

保 育 の 栞

豊田英雄子述

幼 稚 園

幼稚園とは何ぞ、多くの幼き兒女を集めて其の身の健康と幸福とを保ち而して良き慣習を與へて兒女

等をして最も娛しみを得せしめんため懇切に導く所の『一つの樂しき園』なり。

この園に集りたる兒女は何れも三年より六年までのものにて、たとへば草木の將に萌芽を發せんとする期にして實に軟弱嫩葉の如きものなれば最もその發智に注意せざるべからず。

其萌芽の發するにあたり、若し、この障害を爲す時は其發達を妨ぐるや必せり。雷に妨ぐる而已に止らず其害引きて生涯に及ぶも亦はかるべからず。されば、専ら其身體の運動と幼兒心の愉快とに因て健康を保導し確實なる精神を養ひ、苟も、其の性の傾きたるを撓はめ、其の缺乏を補ひ彼の蕪草蔓延弊を芟り、鋤きて其の稟性を傷はざらしむるを勤むべきものなり。

此の目的全くしてのち始めて人生將來の福祉安寧を得んとする基礎立つ可し。而して心性を耕すことに於ては必ずや彼の二つの『枝葉』の區別ある事を忘る可からず。一つは則ち德育なり。一つは智育是なり。此の二つの區別の中、一つだに失ふことあらば或は其の生涯天稟の幸福をも失ふに至らん。豈怖るべきことならずや。

苟も是が任にあたるもの實に茲に顧み慮りて其の啓蒙の道を謬ることある可からず、然れ共これ所謂諺に *Vousloir c'est pomoir* (望むことは達すことと意)と言へるが如し。故に、保姆及び母たる人ひたすら茲に注意してそが目的を謬るべからず。達せしめんことを希はざるべからず。

偕て幼き兒女を開誘するには恩物と名づくるところの各種の玩具あり、抑も此の玩具は西曆千八百三

十年時代に當り獨逸國にヒイデリックフレイベル氏なる教育家現れ出で、種々學問の蘊奥を究め遂に幼兒の教育法を發明したり。此の人夫婦にて多年辛苦實驗を積み、矢張り人生身心の發育も彼の草木發生の理に等しき原則を悟り遂に兒女を開誘するに人世必須の要を含蓄したる二十有種類の実に小兒に適當したる玩具を製し、併せて賢き遊戲を組み立て、幼兒をして自ら之を使用せしめて身自ら之を導きて小兒天稟の良智良能を開誘し、其健康を助けしむる基礎とせり。此の二十玩具を名づけて恩物とは言へり。恩物とは天賜と言ふ意を含有す。

フレイベル氏の説に因れば、恩物を三つの種類に區別す。則、營生、修學、美麗、其大要を云へば、一つは智識を開發し、二つは技能を開發せんとし、三つは美術心を開發せんとするものを云ふなり。

德育は専ら幼き兒女實際の行爲に就きて之を補ひ助けてその徳性を養成し、又保姆自らの行爲言語の中に於て之を知らしめ、常にその標準となるを要するなり。フレイベル氏の定めたる二十恩物の順序は

第一	六球	第二	三形體	第三	積木	第四	積木
第五	積木	第六	積木	第七	板並べ	第八	置箸
第九	置環	第十	石盤畫	第十一	紙刺し	第十二	紙縫ひ
第十三	紙剪み	第十四	紙織り	第十五	木片組方	第十六	連板
第十七	紙片組方	第十八	紙疊み	第十九	豆細工	第二十	粘土細工

以上 謂ゆるフレーベル氏二十恩物はなり。こはもと氏の高遠卓越なる智能を以て人世必須なる諸能諸技の原則眞の理を含蓄する所のものを玩具に製して兒童に満足愉快を與へしめて、自ら其の稟性を發達せしめんとする方法に過ぎざれども其の結構順序の如き注意實に到れり盡せりと云ふべし。然しながら茲に一言せざる可からざるものは氏が原則、則ち二十恩物を完全ならしむるは素より美にして且善良なれども、此れが任に當る者、これ等を活物視せざる等より往々にして難事も亦尠しとせず。又それに係らず幼稚園を論ずるもの此の原則を批難し却て兒女の發育を妨ぐるものゝ如く認識する者あるも又止むを得ざるなり。

歐米の教育家、幼稚園保育玩具に種々新規のものを作るものあれども其の意匠結構孰れもフレーベル氏の原則に基きたるものに過ぎず、彼の高尚なるものに至りては却て簡單平易なるにしかず。故に其撰び方の如きは保姆其の人を得て其簡易にして兒心に愉快満足を與ふるものを應用する方法を俟つのみ。なほ上流社會富家の兒女、農民職工の子女、各々區別あるを免かれず、是を以て今所謂小兒遊戲にて何方に向ひても無害にして小兒これを爲して深く樂しむ所に注意すべし。而して保姆其の人、其の恩物を活物視せざることなかれと云ふにあるのみ。余茲に一般に普及し易き簡易幼稚園のために聊か注意を説くべし。先づ恩物の種類は第一系製のまり。これは備へざるもよけれども極めて幼き子女のため設くるもよかるべし。

次に積木は第一、二、三、四、五、六號のもの、次に並べ板は四角、長方形、及三角、次に石盤畫、紙縫ひ、紙織り、紙疊み、紙組み（但し紙組は強ひて設くるの要を見ずと雖も、紙片の不用品を出せし際之を恩物に用ひて組み或は結び娛みなさしむるも經濟の一助といふべし）次に豆細工、粘土細工、右はフレノベル氏恩物中取捨を爲したるものなり。其他基石、キシヤゴ、貝等を備へ置きて數へ又は並べ等を爲して兒心を娛しましむるに供す。

麥藁の五色に彩色したるものを五六分ばかりに切り裁ち屑の紙片を四分計りなる四角となし糸針を以て之を貫きて一連の環と爲す。これ兒女の最も製し易く且美麗なれはいと愛好するものなり。三年四年の兒女に甚適せり。

其他園中に濱砂子を多く蓄へ運動遊歩の際茲に出して隨意の娛樂に供せしむ。又雨天にて庭園に遊び得ざる時の爲め遊戲室は單に屋根のみを葺きて中間は砂地になし置く可し。

庭園には花壇の設けあるべし。小兒のため、小さき花畑を設け、この區域は庭園の廣狹によりては或は三尺四方位とし、各幼兒の分擔を定め、好む所の草花、鶏頭花、鳳仙花、瞿、夏菊等の種子をまきてその培養をなさしめ、なほこの土を鋤くため木製なる鍬を備へ置くべし。

保姆の資格保姆たるものは毎日吾が心性を溫和にして爽快活潑ならしめ、懇篤にて慈愛深く物毎に注意周到にして能く忍耐し恰も『春霞の朗靄たる如く精神常に爽快にして』且つ音楽唱歌に熟練し、又室の内外に於ける遊戲と恩物の使用法とに熟練せざる可からず。

保姆は常に清潔を愛し物事に於ける秩序を正しくし、清潔を愛し事物を能く整頓するの規律を實行しつゝ有るべし。又美術の想なくばあるべからず。是れ常に多くの兒女と室内に遊戲するとき彼の恩物を使用して各種の物體花鳥などに模し、彩色配合を調べしむるため美術の思想を要するなり。又頗る說話を明に爲すことを望むなり。然れ共小兒に對して敢て六ヶ敷また高尚なる道德に解し難き歴史或は詩句等を望むに非ず。唯卑近にして理解し易き古今の嘉言善行或は昔噺に類似せる伊噺物語の如き小兒の莞喜して聞く所のものを望むなり。

此の一節は成るべく空談を爲すよりも其事柄又昔噺等の圖畫を設け之を壁上に掲げて説明するを最も良しとなす。博物の說話をなすも矢張り實物或は標本に就きて說話するを良とす。

保育の注意

幼き兒女は何れも天真爛漫にして能く活潑なるは小兒の特性なり。然れども若し爽快活潑ならずして鬱したるときはこれ疾病有るものと認定して其の容貌を始め各部に就きて篤と檢察して苟も異狀をあら

はさんとする兆候ある時は速に醫師に就き診察を乞ふべし。若し兒童の家、園の近傍ならば早く親族を呼びそれ／＼の看護を爲し、忽がせに爲して重症に陥らしむる事あるべからず。

小兒は腦膜炎或は癰癰其の他種々の急症又は腹痛齒痛の如きは不時に發すること往々ありがちなれば保母玆に注意の届かずして他の兒女と共に強て遊戲を爲さしめんとして、其の後病に心つかずこれを危険に至らしむる往々なしとのみいふべからず。故にいかほど不完全なる園と雖も常に醫員を頼み置き急の場合の備を爲すを最良とす。又常に緋帶、氣付藥、負傷の時に塗るべき脂藥様のものをば豫て用意し置くを良しとす。而して保母は斯る場合の救治法一通りの辨まへなかる可からず。

小兒遊戲或は運動の際、蹶づき轉ろび内瘤等出來ること有がちなれば斯る場合に保母は狼狽せずして靜かに其の局部を改め醫師を招く程ならざるものならば、直ちに清水を以て之を洗ひ冷して發熱を防ぐ事に着手すべし。保母狼狽して猥りに種々言ひ繕ひて小兒をすかしなどする時は左程の感痛ならぬに大聲を發して叫涕するに至る。斯る折よりして往々小兒に臆病心を養成するに至るものなればよく心すべきことなり。

小兒の年齢と發育との差違によりて二組或は三組と爲すの必要あり。甲は五年より六年までを甲組とし、四年より五年までを乙組とし三年より四年までを丙組となして大概その當を得るものとす。

既に各組を分けて各其開誘室を設くるの必要あり。隨て机腰掛等より種々の物品等を備へざるべからず。

机と腰掛は二人用のものを以て宜しとす。而して机面に棋盤の目を畫したるを以て最上とす。これは小兒各々玩具を此の線圍内に並列して自然に其位置の正しきを得せしめんが爲なる用意なり。然れ共僻村等の經費充分ならざる園に在りては往々不完を免れ難し。

幼兒は一室三十人より四五十人までを定員となせども園の都合により各室を區別するまでの違あらざる時は廣き室の後邊通りに五六年位の者を並べそれより順序を追ひ前側へは最幼齡なるを坐列せしむる仕方あり、蓋し此仕方は至て小數なる子供ならでは却て行ひ難し、此の仕方に就ては聊か終りに於て述ることあるべし。

開誘の時間は各々三十分より多からざること大方の規則なれ共五年の幼兒には業によりては四十分或は四十五分を課するも妨げなし。併れども意匠巧智も要せざる遊時に強ひて引延ぶるは惡し。幼稚の數に隨ひて各玩具料紙等悉く備へ又時間外の遊戲に充つる品をも多少備ふる必要あり。例へば男兒のためには擲球、木鋏、其他危險ならざる玩具類及灌水器、女子の爲めには糸製鞠、羽子、羽子板、厨房の道具等はなり。

二十恩物の第一より第六號までは専ら物體を指示するものなり。第七の板並べは小兒既に物體を熟知したる其一面片を以て所謂想像力を養ふの方法なりとす。環並べ、箸並べの如きは尙ほ進んで僅かに其片縁を以て其全體を想像せしめ其力を益々堅固ならしめんとするものなり。其外、紙片或は糸を用ひて

縫ひ組み或は刺し物を製するの感覺を開誘するの順序とす。開誘は大方朝十時を以て初め午後二時を以て終る。其間室内に於て開誘すること十時より十一時或は十二時までとし次に午餐の時より時を経て二時までを合せて二時間乃至を以て開誘時間とす。其配當の如きはのちを見合すべし。

午餐は園の都合によりては總體の幼兒へ一様に飯を供するもよし、貧民幼稚園等にありては之を最もよろしとす。然し普通幼稚園にありては素より相當の食費を納めしむるものなり。

食堂は別に設けおくを最良とす。(つゞく)

静かさや岩にしみ入る蟬の聲
芭蕉

私の視察したる米國の幼稚園教育

(シカゴの卷)

堀 七 藏

一、

シカゴ大學の附屬幼稚園を參觀すると驚くことがあります。シカゴ大學はニューヨークのロンビヤ大學と併稱せられる位で、米國第一流の大學であります。このシカゴ大學にも師範大學部があり、それに附屬した練習學校研究學校があります。そしてこの附屬幼稚園はロンビヤ大學のホレスマンスクールの幼稚園同様、至極特色のあるものであります。ホレスマンスクールの幼稚園は大きな保育室が一つあつて比較的立派に見えますが、このシカゴ大學の附屬幼稚園の保育室は「これは、これは」と驚く位難然たるものであります。殆ど保育室と思はれない位に積木で妙なものが出来てゐます。大體にこの幼稚園の建物は小學校やハイスクールの本館とは別な感のする所に三室ばかりあります。小學校から入つた廣い室が保育室であります。が壁際一面にいろ／＼のものが出来てゐて幼兒の作業するところは著しく狭くなつてゐます。この保育室の隣は著しく狭いがピアノがあつて幼兒が唱歌をしてゐます。その隣が保姆室であり、いろ／＼の事務室といつたものであります。この幼稚園の前庭は廣く、またシカ

ゴ大學校庭から引續いて廣いワシントン公園がありますから、この幼稚園ではそれ等を十分利用することが出来るのであります。

二

シカゴ大學の教授法の教授たるバーカー氏は幼稚園と小學校一年生との融合統一せる教育を主張して居りますからこの幼稚園が著しく他の幼稚園と異なる原因があるのであります。從來の如く幼稚園は幼稚園、小學校は小學校と獨立無關係であるべきものでないのであります。また幼稚園で小學校の課業を學習させるために小學校の一年生の教師が大變に困るといふが如きことも面白くないことであります。幼稚園で小學校一學年の學習をさせることも幼稚園本來の精神ではありませんか、幼稚園から來たものと家庭から直接小學校に入學したものと程度が異なるから學級教授をなす一年生の教師は大變に困るといふ理由で幼稚園に反對することも間違つた意見であります。幼稚園の幼兒にも身體精神の發達程度が著しく相違してゐるものがありますから個人差に即した保育をなせば、一年生の課業を學習した以上の能力を有し發達したものが出来るのは當然であります。それを小學校で學級教授を行ふ便宜上皆一様な程度に保つため個人差を成るべく滅却するやうな注文をなし、幼稚園保育を排斥するが如きことも甚だ偏狹でありませう。バーカー氏などの主張では、

A、幼稚園の作業には第一學年まで擴張せねばならぬものがあること。

B、第一學年の作業を幼稚園の方へ擴張すべきものが多いこと。

C、それでこの幼稚園と第一學年とを融合統一してこの時代の幼児の精神年齢に適應した教育をなすことが甚だ重要であるといふのであります。近時我が國でも低學年教育の研究を主として高唱してゐる人々がありますが、兎に角小學校の低學年と幼稚園との間に大なる溝を穿ち、兩者が全然無關係であることも改善せねばなりません。また幼稚園を全く小學校と同様になすことも幼児の精神發達上大なる無理があるので十分考慮せねばなりません。今日幼稚園保育の長所を一學年教育に取り入れることが肝要と同時に小學校第一學年に於て行ふ文字を書くこと、讀むことまた數觀念を養成することなどは適當な方法で幼稚園時代から着手すべきものであります。幼稚園に於て幼児が生活の必要上起る數へること、字を讀むことなどを無理に小學校の課業であるとして幼稚園では教へないといふが如き頑固な考は打破せねばなりません。ターマンの學校兒童の知能検査の結果によると次の表に示す如くであるといふのであります。この表によると幼稚園幼兒百十二人、一學年兒童百四十九人の精神年齢を測定して示したもので、滿年月を以てしたものであります。

精神年齢	幼稚園	第一學年
年		
月		
三〇—三	三	—
五		
三	二	—
六—三		
一		

合 計	九	九	八	八	七	七	六	六	五	五	四	四
六 以上	〇 九	六 八	〇 八	六 七	〇 七	六 六	〇 六	六 五	〇 五	六 四	〇 四	五
一 二 三	一	一	一	一	二	二 六	一 九	一 七	一 七	二 四	一 一	九
一 四 九	三	〇	二	四	六	二 六	三 〇	二 一	一 七	一 四	一 七	九

この表を見ると幼稚園幼児にても精神年齢が満六年以上のものが三八人もあるのであり、一學年の兒童にても精神年齢が六年以下のものが五十七人もあるのであります。従つて普通の年齢によつて幼稚園

と一學年とを截然區別するよりも幼稚園と一學年との課業を融合統一して各幼兒に適應した教育教授となすべきことは明白でありませう。

三

而して低學年教育の目的を次の如く考へるのであります。

(1)、健全なること。(2)ひまな時間を無害に樂しむこと。(3)善良なる性情。(4)社會的奉仕。

(a)職業的の奉仕。(b)、家庭奉仕。(c)、文化奉仕。(d)、博愛的奉仕。

是等の能力を得しむることを教育の目的となすのであります。是等の目的を達成する爲に幼稚園と一學年とを融合した低學年に於ける課程を大體分けると次の五事項に亘らねばならぬと主張してゐます。

(1)、五つの本質的な社會的技能、即ち話し方、讀方、算術、書くこと、綴ること。

(2)、休養的作業、即ち唱歌、遊技及び競技、お伽噺自然研究や圖畫の如き作業。

(3)、社會生活の研究、これには家庭並に近隣との生活、都市や國家との生活、原始人の生活に織込んで研究させるのであるが自然研究などが理解させるために役立つことは勿論である。

(4)、保健法、榮養に注意し、休養的作業、社會生活等より來る事項を含む。

(5)、文化的道德的な觀念並に習慣、自制、敏速、自助等の精神を含む。

四

是等の課程を多少詳細に解説すると次の如くであります。

1. Five essential social skills

a、語學的發表。言語發表の機會は幼稚園にも一學年にも甚だ多い。幼兒が家庭から持參した玩具、その他のものにつき話すこと、クリスマスにデパートメントストアに行つた時のことを話すこと、土曜日、日曜日にあつたことを話すことなどはその主要なものであります。

d、讀方。幼稚園時代の幼兒でも精神年齢六年に達せるものは讀方を學習することが出來ますから簡單なる讀物を讀ませることが必要であります。

e、算術。幼兒でも生活の必要から數觀念は次第に發達し、一年の終りには簡單な算術をなし得るものであるから適當なる材料を與へて適當に指導せねばならぬことは申すまでもありません。

d、書き方。七歳以下の幼兒でも文字を書くことを好むものであるから彼等の必要とする程度に文字を教へ書くことを練習させるがよいのであります。

e、綴ること。單語を文字で組立てさせること位は行はせるがよいのであります。

二、Recreational activities。これを休養的作業と譯することは適切でないかも知れないが他によい譯語がないから暫くこれで満足するといひませう。その内容には遊技と競技、唱歌、お伽噺、美の鑑賞自然觀察等を含ませるのであります。いろ／＼の遊技が休養的作業なることは勿論であるが花箱、花壇、

秋の紅葉等を觀て楽しむことや鳥類、草花、樹木等を分類したり栽培飼育することも趣味的休養的作業であります。

三・ The study social life

家庭や地方團體の生活や都市や國家生活を研究させるのであります。しかし近きより遠きに、簡より繁に、原始的より文化的に及ぶ方針に従ふべきものでは等の生活様式を幼稚園・低學年生活の間に學習させるのであります。故に幼兒は、八百屋に乾物屋に、停車場に郵便局に實際行つて見學し來り、之を遊びの間に模倣し表現するのであります。第一學年になるとアメリカインディアンの原始生活の研究に進むのであります。この二學年間に於て自然研究の或題材、例へば植物の成長、雞が雛を孵化し飼育する有様の觀察は社會生活の研究に重要な理解を與へるものであります。

先づどの幼兒でも好んで行ふまゝごと遊を發展させて八百屋遊に移ります。男兒が八百屋を積木で造り、いろ／＼の粘土細工によつて出來た野菜果物を陳列し、茲に八百屋の主人が出來、お客が買ひに來るといふ場面が出來上がります。是等は一日毎に取片附けられるのではない、半年も一年も保育室にその儘に保存せられるのであるから前に述べた保育室がいろ／＼の社會生活の場面で雜然たること驚くべきものとなるのであります。八百屋から肉屋、それから町通り、郵便局、病院、教會等いろ／＼のものが積木や厚紙で出來幼兒が背景を描き、いろ／＼の必要品を製作し店の名稱等必要なる文字も幼兒はそ

の間に學びいろ／＼の生活作業を實演するといふ有様であります。是等は教師保姆のヒントで幼兒が一切活動し必要に應じて保姆と共に見學に出かけいろ／＼の觀察をなしそれを表現するのであります。勿論幼兒は必要に應じて教師に質問をなすから教師は幼兒の理解し得る程度の説明をなすのであるが、凡て自學自習の根本原理によつたものであり生活作業を實演することによつて生活様式を理解するものであります、それで社會生活に必要な知識技能を收得させることは勿論社會生活をなすに必要な徳性の涵養をするので所謂生活を通して必要な學習も訓練をも行ふものであります。

それでシカゴ大學附屬小學校幼稚園で實施せるソシアルライフの研究の課程表を示すと大要左の如くであります。

幼稚園

一、十月より十二月

1、ホームに於ける家族の生活

(a)、寢眠、食事のため家庭の整頓裝飾と家庭生活

(b)、家庭生活に必要な作業、室内の整頓、衣服の整理、食事の準備

2、食物の源

(a)、食品を購入するマーケット

b)、果物、野菜、穀物、卵、乳等を産出する農園

3、季節的作業娛樂

(a)、冬のため食品の保存

(b)、冬咲く球根の栽培

(c)、秋の木葉、果物種子を集めること、是等を裝飾に使用すること。

(d)、保育室にて金魚などの如き動物を飼育すること。

(e)、萬聖節(十一月一日)を祝すること。

(f)、謝恩日(毎年十一月の最終木曜日に神に謝する爲に行ふ)の準備。

(g)、クリスマスの準備 サンタークロイス、玩具店、クリスマスの贈物をつくること。クリスマス

スツと裝飾

二、一月より三月

1、地方團體の生活

(a)、異れる家族のホーム、ハウス、アパートメント、ホテル。

(b)、家族の必要品を供給するいろいろの商店

(c)、學校、教會、消防署、車庫、停車場等と是等が團體生活に及ぼす役目

(d)、町、街路、街燈、交通信號、交通の様式、巡查等と是等が團體生活に及ぼす作用

2、季節的作業娛樂

(a)、冬季に於ける戶外遊戲

(b)、夏日と比較し冬の日の晝の長さの觀測

(c)、聖ヴァレンティン節(二月十四日)を祝すること。

(d)、室内植物の世話

三、四月より六月

1、家庭並に團體に於ける必要な仕事

(a)、春夏の服裝準備

(b)、家屋掃除

(c)、花壇の手入

2、季節的作業娛樂

(a)、獨樂、彈玉、風を以ての戶外遊び

(b)、季節の變化を觀察し享樂するための遠足

(c)、雛を育てること

(d)、復活祭(基督の復活を記念する祭禮、三月廿一日以後の満月に次ぐ第一日曜日に行ふ)
メーデー(五月一日の祝日)を祝すること。

(e)、學校の春の祝日に參加すること。

第一學年

一、十月より十二月

1、序、幼稚園と比較した一年の教室、教室にて爲すべき事項、必要なるものをつくること。植物動物の栽培飼育、室内の整理、お話、競技、唱歌、讀むべきものなどの豫定

2、農園に於ける生活

(a)、農夫の家屋と家族

(b)、農夫の仕事、特に果物、野菜穀物の收穫、農場動物の世話

(c)、水車屋、パンヤの仕事

3、季節的作業娛樂

(a)、學校園に生産するもの、收穫と使用

(b)、種子の採集、翌春まで保存

(c)、秋の紅葉木實などを採集し室内裝飾をなすこと

(d)、球根を室内又は花壇に栽培すること

(e)、謝恩祭、クリスマスを祝すること。

二、一月より三月

1、町や市に於ける農産物市場

(a)、車で町に送ること。

(b)、汽車や汽船で市に送ること。

(c)、市に於て農産物の貯藏配達、ドック、航空格納庫、小賣市場に輸送すること。

2、小さな町と大きな市との對照、花壇飼育場ある家屋、學校、教會、郵便局、汽車の停車場、倉庫等、農園と小さな町との關係

3、季節的娛樂

(a)、氷滑り、橇、雪遊び

(d)、教室に於ける動物飼育

(c)、室内植物の世話

(d)、聖ヴァレンティン日を祝すること。

三、四月より六月

1、都市に於ける團體生活に必要なこと。

(a)、團體の保健衛生設備、交通規則、街路の掃除、消防設備等

(b)、公園又は運動場

(c)、公立圖書館

2、季節的娛樂

(a)、家庭及學校に於ける園藝

(b)、小鳥を觀察する爲の遠足

(c)、玩具を使用しての戶外遊び

(d)、復活祭、メーデーを認めること

(e)、學校の春の祝日に參加すること。

以上の課程はシカゴ大學で實施したものであるが是等は地方々々によつて異なるべきこと勿論であると特に注意してゐるのであります。

尙ほ保健法や徳性涵養の方法につきバーカー氏は實際案を説明して居りますが茲には是等を省略することにしたしす。兎に角このシカゴ大學の附屬幼稚園は確かに特色のあるものであります。幼稚園といつても主として一ヶ年の保育でそれが小學一年と融合せられ所謂低學年教育として教育を下に延長することを研究し實施してゐるものであります。義務教育年限延長といへば七年八年と上のみ延長することのみ考量せず幼稚園の方に一年位延長することが現下の我國に於ては寧ろ重要なことでありませう。尤も是等は十分研究した上でなくてはなりません。

保育座談會（第二回）

七月五日午後一時から東京女子高等師範學校附屬幼稚園に於て。

出席者は

倉橋教授、堀主事、新庄、神原、徳久、白根、澤の各保母に成城學園から大塚喜一氏加はる。

神原 前回で、問題「幼兒の仕事の際に於ける保母の態度並に、若し保母の力を加ふべき場合如何程の程度に力を添へていいでせうか」のうち自由畫だけすみましたから今日はその残りを續けていただきます。

新庄 今日皆さんからお分りにならない事を仰つて下さいな（問題出です）

新庄 私、この前の自由畫でもう分つた様な氣が致しますから、他の方々から問題が出なければ「分

園作業に適當な人數の最少限度」を伺ひ度うございます。何人位が一等よろしいでせう。

大塚 それは先生が分團にさせるのですか。例へば机の配列などを何人位づつの分團が出来る様に並べてあげばよいといふのですか。又は自由遊の時に子供が自然に自發的に作業分團についてですか。

新庄 室内で仕事をする時、何人位でしたら宜しかと云ふのです。幼兒が自然に分團をつくるのは、何れ位がよろしいのか仕事によつて困る事があります。一人づつでする事がありますが、幼稚園の仕事として一人づつは特別の場合を除いては何うでせうか。

堀 今の大塚君の質問の如く、先生の方から何人

かを分團にする時と、子供が自然に集つて分團をなす時とある。子供が自然に集つた時に、こちらでそれを大きくしたり小さくしたり制限をつけるか、つけぬか。先生が分團にさせるのか、自然に分團になるのに任せるか。

新庄 私のお尋ねしたのは先生がさせる時です。

倉橋 實際の場合、自然にまかせた時に何れ位が最大の分團になるかは作業の種類によつて違つて來ますね。まゝごとの時は自然に多くなるでせう。

新庄 入つて丁載なと云つて入りますからね。

倉橋 自然に子供がよるのにはいろんな場合があつて研究しなければなりません、今の新庄さんの問題は寧ろ、何人位で仕事をさせた方が手勝手がよいかと云ふのでせう。實際の場合、學理上何人と云ふ事はないんじゃないでせうか。

堀 先生の分團作業を指導する能力と、子供が自

然に何れ位集つて來るかの二方面より見ることに必要でせう。

倉橋 問題は、つまり、子供の相互性のうまくゆく社會的心理といふ事になるが、五六人から六七人。三人では少なすぎ、十人以上では君、僕との關係が十分にゆかぬと我々はそう想像します。が何うです。

新庄 大抵は、それ位の人數で致して居りますけれどもひとり／＼を餘り見過ぎますと、時には五人でも多過ぎてそれがいけないかとさへ思はされる事があります。仕事にもよりますけど。

倉橋 一人々々の子供を見るには、さうでしょうが、分團保育としては、相互生活のよく行はれるのを主にしたい。ところで、子ども達としては、どういふ風に分團をつくつてゆくでしょう。

新庄 それは來たい者が來て。

堀 その時に何れ位集るだらうか。

新庄 子供の、友達を集める力によつて違ひますが、

私の組では男の子はみんな一緒に致します。

堀 新庄さんの組は少いんだらう。

新庄 男兒は十人位ですわ。

今橋 こゝに注意することは、五人、十人机を圍んでゐてもその間の關係がなくては駄目です。相互と云つても、五六人で一つの軍略をつくるといふ風な本當の相互の場合もあるし、銘々の仕事をしてゐて「君のは何うだい」「これ御覽ん」の純仕事中心でない相互もある。

新庄 皆さんとは何人ぐらゐでせう。

徳久 一つの机に七八人。でないと小さい組では眞似てしまひますの。

堀 各組三十人になつてゐるが、餘り分團の数が多すぎても管理が出来ぬ。

今橋 左う云ふ實際問題にも支配される。考への上に區別すれば、自然に出來たグループと先生が

決めたグループといふことになるが不斷はまゞつて行はれてゐるのでせう。事實は何うなのですか。一緒に扱つてゐることもあるけれども、それを本體にしてはゐないでせうが。

大塚さん、あなたの所は子供の数が尠いから、子供が自然に分團をつくる要件が大いに主です。此處ではさう許りもいかね。

大塚 今日僕のはたつた六人でしたよ。

新庄 それ丈ぢや分團保育も何も出來やしませんね。

大塚 いや、三人宛、或は四人に二人で、

新庄 分團保育の最少限度をお伺ひし度いのです。

今橋 二人では、相互作用を元とした集りとは考へられない。三人以上といふことになりましたが、

まあ、五六人でせうね。

大塚 それは保育室に於いての席の配列の問題になりますか。

新居 いや、仕事の方から云つて

倉橋 まあ、四五人以上、多くも十人以下です。それで机の配列を何うすればいいか。配列は室の中の机の置き方ですね。これは極めて簡単な先生の便利が主ですな。餘り亂雑なるよりは多少整頓的なるがよい。

堀 同時に、お互の分團が邪魔にならぬやう、光線の問題も考へて配列せねばなりませんね。

倉橋 二十坪に三十人を入れるとゆとりある空間は出来るがこれで最少限度です。もう少し狭い室に四十人も入つてゐるとなれば分團が六かしい。

堀 アメリカの幼稚園などでは大きな一つの室に幾組も入つてゐる。日本では狭い一室に一組で不自由してゐる。

大家 それぢや大きな一室に幾組も入ることにして、衝立を使へば、

堀 衝立がなくともよい。廣い室だからあつちで

仕事をし、此方で話をするとしても一向差支ない。

倉橋 それに關聯して。分團保育がうまく出来る餘裕があるとしても、仕事の關係で或る者は戸外に出てしまふ。室内が狭い時に尙且つ分團保育をなさんとする時は或る子供を戸外に出さねばならない。分團保育の本來の經過からも、室外保育と室内保育の問題になる。何時も諸所で云はれる事ですが、お茶の水幼稚園では實習科の生徒が多いからそういう事も出来るか、組の先生一人では出来ない。

新庄 組によつて違ひますけれど、子供によつて分團保育のし易い時と、目を離されぬ時とあります。今の組では私が室内に居りまして外に出しましても少しも心配はありませんねが。

堀 室外の子供を打つちやつておくか。室内の子供をすてゝおくか。

倉橋 そのぎり／＼の場合を問題にしよう。

堀 新庄さんの室は室内も戸外の様子も見えるが、普通の幼稚園は見えぬ場合が多いのだからね。

倉橋 分團保育の賛成者も、それで、實行出來ぬといふ人がある。

堀 日本の幼稚園がいかぬ。自分の組だけしか氣をつけない人だから。幼稚園全體としての分團保育を考へればよい。

新庄 それとなく致して居りますよ。ね、皆さん。

倉橋 心持の問題は六ツかしい様でもあるが、何誰かが外にゐらつしやるからうちの子をも見て貰ふ。他の子と雖も同じに世話する氣があれば必ずしも六ツかしくない。

堀 日本で分團保育を實行しようとすれば幼稚園全體として考へなければならぬ。現に或る幼稚園では休み時間といふものがあつて、全部外に

出る、この時主任、園長は中に居る。こんな時に怪我でも起さうものなら責任が大變だ。

倉橋 極く、實際問題を考へると一番本當の保育としてやる時に、最も多くの時間充實で纏めてゆかうとすれば各時間は一齊で幼稚園全體は分團的に動く。その中で分團保育をする場合は誰かゝ多少の形式的充實を離れなければ出來ない。斯う云ふ幼稚園の状態では理想的には——絶え間ない理想を實現することは出來ない。が、幼稚園全體の相談で一週に一度か二度てもよい——これをやるとよい。

新庄 戸外は何處かの組の先生が何となく、みてゐて下さることを本體として、室内は思ひ切つて分團保育にすればよろしうございますね。

堀 その場合、遊戲室の先生とか、戸外の先生とか、ダルトンブランのやうに、ドコの組の子供でも、その場所の先生が指導する、左ういふ風

に出来ませんか。

倉橋 外にゐる先生は日に焦ける。(一同笑ひこける)

堀 一日交代でも、時間交代でもいいから。出来ませんか。

新庄 いやですね。満足出来ませんわ。

堀 それが出来れば日本の幼稚園で分團保育が出来ると思ふ。先生の得意な方面を受け持つて。

倉橋 大塚さん、先日君のお話しのダルトン・プランのやうに仕事分けてやらうと云ふのはそれぢやないですか。

大塚 あれは室内での仕事分けてです。

倉橋 今の堀さんの案を行へば仕事の室をつくることになる。

堀 大積木で遊ぶ子供が多くなれば積木室にも先生がつく。

新庄 その組の先生の外にそんな先生が居るとよ

う。

堀 左う云ふ氣持なので中等學校でも日本ではダルトンプランが出来ない。専科の先生は先生の様な氣がしない。

倉橋 局長と技師くらゐに分けて考へる。

大塚 で此頃やりかけてゐるのは、三つの室はいろ／＼な仕事を用意し一人づゝ先生がついて子供をして自分の行きたいと思ふ室を選択させて行かせてゐるのですが、其最初の日には僕の室には僕の組の子供だけが入つて來て他の子供は一人も來ませんでした。

倉橋 子供の方にも習慣がついてゐる。小さい幼稚園でなくちや出来ない。

堀 アメリカのやうに廣い一室に一緒にゐるのでなくちや出来ない、日本のやり方では、先生一人にそれ／＼の組なのだから子供に對しては主任はいらぬわけだ。幼稚園全體が外に對して丈

の主任である。

倉橋 所で、それは完全に實現しさうにもないが、今のまゝでもよ、その組の子供がよ、その先生に話を聞きに行く、今の精神と違ふかも知れぬがちよい／＼こんな事をやつてみるがよい。この附屬小學校では少し上級組(中學年)になると分科的になつてゐるので、よ、その先生に尋ねに行つたりしてゐる様ですが、幼稚園では六ツかしいけれどやつてみると面白い。ど、この組で活動寫真とか、お芝居をする時は行きますね。

新庄 興行の時にね。

大塚 みんな行きますか。

倉橋 残つてゐる子供もありますね。實習科の生徒が居りますから自然に運びます。

倉橋 制度の問題になりますが、英國の保育學校の制度のように各幼稚園にブローションナー(助手と譯しませうか)が出來るとよろしいです

な。

大塚 受持なしですか。

堀 外國の方では受持の感が強くない。

新庄 斯んな制度の幼稚園だから組を思ひ過ぎます。

倉橋 よ、その子の世話をしないぢやないが、その子のおツ母さんに對して控へるといふ所ですか。

餘計な遠慮。

倉橋 そこで僕の云ふ名言となれば、保育上の管理責任について 自分の組の責任を負ひ、保育作用になれば解けたり結ばれたり、目前で出來てゐるものに責任を持つ。

新庄 必要にせまられると出來て居ります。

倉橋 本來として、さう考へられればいいのです。例外的には行はれてゐるのでせうから。つまり私の問題にするわけはこのやうな人手の多い所にのみ分團保育は出來るわけでないと考えた

い。此處の様に都合よくは出来ない、保姆さん
に、く／＼出来るのみならず、子供が絶えず、
度々これを受けてゐる。

堀 そこで今一つ疑問に思ふのは、自分の組の者
と遊ぶか、よその組とは遊ぶぬといふか。

新庄 何となく、組の子同志ですね。

倉橋 組別が、組對抗教育になつてゐる事があるね。

子供など、ブリミティブな間は廣さよりも狭い
仲間、黨派心理がある。習慣の問題だけでなく
てね。

新庄 先生にしても、他の組の子よりも自分の組の
子

倉橋 先生が、よその組の子とお遊びぢやないよと
言ひませんか。

新庄 まさかねえ。(笑)

堀 日本の家庭がさうだからね。

倉橋 よ、その組を除けはしないが、お邪魔にならぬ

やうにつて日本では云ふね。

新庄 時に、お邪魔になりますもの。遊戯をして居り
ます時になど、来て騒がれますとね。

倉橋 よ、その組へ来て騒ぐのは組の子、よその子の
如何に關らずいけない。

新庄 腰かけて見ていらつしやいつて申します。時
には遊戯をして居ります圓をすまして横つて行
く子がありますもの。

倉橋 一種の反感からか。

新庄 そんな意味などなさうです。いはゞ訓練が
届いてゐないつて云はれるかも知れませんね。

倉橋 よ、その子が來たら積極的に「お入りなさい」の
仕組に出る精神が今は足りない。

新庄 そうするなら、何の組でも同じ遊戯なり唱歌
をしなくちや困りますわ。

倉橋 これは一番の實際問題だ。

堀 それは度量さへあれば出来る。

倉橋 よ、その子が來たら入れる様に幾つか準備して

おく事は出来る。

新庄 そりや幾つかは出來ますけれど。

堀 幼稚園全體單位とすりや出来る。小さな幼稚園でね。自分の組で話を聞きたくなかつて、遊戲室に來たので一緒に入れてやる。

新庄 子供は自分の組の先生にして貰ひ度いのです。

倉橋 それは大きに、そうでしょう、仕事の内容本位としても生活したいし、又、人間的慾求が濃厚ですから自分の組の先生でなくちやといふこともあるのですね。

新庄 今のところ自分の組の先生でなくちや、遊戲をさせて頂だいとは云ひませぬ。

倉橋 お話などは、よ、その先生の聞いてるでせう。
堀 僕のやうな者が外に出て「粹登り」にでも登つてゐると方々の組の子供が澤山よつて来る。

新庄 そりや共有の主事だからですからあたりまへです。(一同笑)

倉橋 理窟におきかへれば、自分の組の先生に差別感を持つのは止むを得ない、誰でも主事さんにつくが組の先生にほどは熱を持つまい。

堀 子供の我が家には父母があるが、隣の庭に行つて遊んでゐる時にはそのお父さん、お母さんを相手にするしその話も聞きまた遊びもするでせう。あまり自分の組の先生だけが先生で他は先生でないなどといふ感じは周圍から仕向けるからですね。

倉橋 家庭の場合では六つかしいが幼稚園では家庭でよりはやさしい。不斷は別々にゐるが、一緒にいる時は親ごと一緒になる。又この中間があつてよいと思ふ。

新庄 機會を捕へればいくらもありますね。
堀 もつと、自分の組、よ、その組の感がモット緩

和して來なければ分團保育は出來ぬ。

新庄 こゝは分團保育がかなり出來てゐますからそんなに考へなかつたのです。

倉橋 私のうちへ近所の子供がかなり遊びに來ますが、その中の一人の女の子は「ラバチャン」つてまづ聲をかけて次に「ディチャンキル？」「ぢいちゃん」が居るとそのまゝ歸つてしまふ。斯の如きいゝぢいちゃんに對してすら。こうした觀念です。をばちゃんは、うちの母ちゃんやうな人として見るのですね。よ、その組の先生はまあ、少しくぢいちゃん要素がある。

堀 僕は皆さんより朝早く來てゐてね、よく見受けるのだが、早く登園した子供は先生が來ないのでつまらない。そのうちに片方の組の子供は先生は來てよろこんでゐるが、隣の組の子供はつまらない顔してゐる。誰先生が來ても幼稚園が初まるやうにありたい。

倉橋 昔の幼稚園は實に一齊的に動いてゐたから組に分れてゐる意義が明白りしなかつた。それで

組の自由を叫んだのだが、この頃は組は獨立、御近所つき合を唱導してゐます。この御近所つき合が徹底すればいい。

新庄 こゝの幼稚園だつて堀先生が仰るように組、組とまるつきり區別しては居りませんわ。

堀 組本位が強い。

倉橋 誇張しなければ話にならないから。

新庄 仕事をする時が組別なので其のほかはさうでもありませんよ。

倉橋 先生の心持では區別してゐないけれども、全體の組織で組を結びつける積極的努力が足りない、と、組別け精神が子供にいら過ぎる。

堀 日本の社會がさうなつてゐる。

倉橋 學校許りぢやない、社會生活としての訓練が出來てゐないのだね。

堀 保育實習科を毎學期組變させるのはその意味で廣く何の組の子供も一樣に見るやうにさせたためですよ。澤さん、白根さん、受持になつて見て、組を持つてゐる方がよいと思ひますか。受持がなくて主事と同じ様に、その組の先生でもあるといふのと比べて、何方がいいですか。

徳久 受持の組がなければ張合がありませんわ。

倉橋 みんな、内閣の一員と心得ればいい。各省の主務大臣であると共に、内閣の一員でもある。話を大きくすればね。

堀 まあ本日はこの邊で切上げませう。そろく御馳走でも出して下さう。

大塚 僕よいところへ來ましたね。

倉橋 これからが本當の座談會になるかも知れなう。

堀 食ふ段になると本當に話がはずんで座談會になる。

(事實、これからが大層面白い座談會になりましたが筆記掛も口の方が忙しくて書けなかつたので割愛せねばなりません。)



幼稚園問題に關するデユキ―氏の意見(一)

(幼稚園 六才以下の子供)

大塚 喜 一 譯

一、遊戲について

遊戲は、幼兒が外的に爲す如何なるものとも同一視せらるべきではない。それは寧ろ、全體として又統一を爲せる彼の精神的態度を指して云ふべきである。遊戲とは、幼兒のあらゆる力・思想・身體運動が彼自身の心像や興味を満足せる形に於て體現する様に、自由に相互に活動する事である。消極的には、それは經濟的壓迫——生活費を得又他人の生活を支持する必要——及成人の特殊なる職業に附帶せる定れる責任からの自由解放である。積極的には、子供の最上の(終極の)目的は成長の充實である事を遊戲は意味してゐる。即ち彼の萌え出でつゝある力の實現の充實であり、其實現によつて幼兒は一段階から他の段階へと續いて運ばれてゆくのである。

茲に論じたるは極めて一般的なる説述である。而してその一般的なるまゝに解さるればあまりに漠然として實際に適用する由もなき様である。しかし此論は、詳細なる點に於て又應用に當つては、幼稚園

の方法の全然根本的な變化の可能性、且多くの點に於て其必要性を意味してゐる。露骨に云へば（デューキの云ふ）「遊戲」は子供の心理的態度を表示するものであつて彼の外的に爲す事ではないといふ事は、あらゆる與へられたる又は豫定せられたる方策、又は恩物・遊戲・作業の順序等に從ふ必要から完全なる解放を意味する。公平なる教師は、フレイベルの云へる（彼の「母の遊び」の中に又其他の所々に活動（activities）に、又彼の弟子達に依て詳細に述べられたる所に暗示を探し求むる事はあらうが、しかし上述の遊戲の原理は彼に注意深く事物（註、恩物・遊戲・作業等）を研究し批評して、果して是等が彼自身の幼兒達に對して眞に（フレイベルの云へる）活動であるか又は過去に於て異なる社會事情の下に生活せし子供達に必要であつたと思はるゝ事物であるかを決定する事を要求してゐる。作業やゲーム（遊事）等が、フレイベル及其當時の門人達のを單に永久に傳へる限りに於ては、吾人は彼等に反對して明に次の如く云ふ、即ちフレイベルの説いた外面的事物を崇拜する事は決して彼の主義に忠實なる事にはならぬと。

教師は如何なる出所から暗示を得るにも絶対に自由でなければならぬ。（註、教師は出所の如何に拘はれ、フ氏のものなるが故に理由なく尊重し重要視する等の事があつてはならぬ）只自らに次の二つの問を爲すべきである。（一）其遊戲の方法（様式）が幼兒自身のものとして氣に入るであらうか。（二）其遊戲は幼兒自身に何か本能的根據のあるものであつて、彼の中に表現せんと勉めてゐる能力を成熟せしむるもの

であるかと。再言すれば、其活動は、幼兒をして意識及行爲のより高き段階へと至らしむる様な發表の種類を其衝動に與ふるもので、かの單に彼を刺戟し而して彼をして以前居た所に止らしめ只一程度の神經の疲勞と將來更に刺戟を欲するの結果に止るものではないかと問ふべきである。

フレイベル氏は彼自身の時代の子供の諸遊戲や、母が其小兒と遊んだゲーム(遊事)を注意深く研究した事はあらゆる證據がある。(今より見れば其研究法は歸納的ではあつたが)「母の遊び」中に見る如く、彼は又是等の遊戲の中に重要な意義を有する原理を指摘せん事に大に苦心した。彼は、是等の遊びは子供が爲すものなるが故につまらぬ事ではなくして、却て子供の成長の基本的要素である事を、其時代の人々に知らせねばならなかつた。しかし吾人は、彼が是等の遊戲のみが意義を有するものであり又彼の哲學的説明が單に暗示せる以上に深い動機があつたものと思つてゐたと見る證據は毛頭ない。之は彼の門人達に對して、彼が集めた諸遊戲を文字通り墨守するよりも寧ろ門人達と同時代の諸事件や諸活動に適合する様彼の研究を繼續して以て更に後進者を啓發せん事を望んでゐたと吾人は信ずる。更にフレイベル自身が是等の遊戲(ゲーム)の説明に於て、當時應用し得られた心理學的及哲學的意見が最上のものであるとは思つてゐなかつたのであらう。若し氏をして今日あらしめたならば、現時の進歩した種々の心理學(一般的・實驗的・又兒童研究の如き)に對して氏は其歡迎會の先頭に立ち、其結果を利用し批評し研究して幼兒の活動を一層教育的ならしむるに努力するであらう。

フロイトの象徵主義の多くは、彼自身の生涯と事業との二つの特別なる事情の産物である事を記憶せねばならぬ。先づ第一に、當時は子供の成長發達に關する生理學的・心理的事業及原理の智識が十分であつた爲に、彼は遊戲等に附せる價値の牽強附會な人爲的な説明に依る事を屢々餘儀なくなられた。今日では簡單な日常事として簡潔に述べべき事柄に抽象的な哲學的理由を與へたが爲に、氏の説述の多くが厄介で遠廻しな事になつたのは、公平なる觀察者には明である。第二に、當時ドイツの政治的社會的事情は一般に專制的束縛的であつたが爲に、幼稚園の自由な協働的な社交生活と斯かる外的生活との連續を考ふる事が不可能であつた。それ故氏は、教室の「作業」(Occupations)を社會生活中に含まれる道德原理の表現と見る事が出来なかつた。斯かる事情に依て氏は之を抽象的な道德的及哲學的原理の象徴と考ふるに至らしめられた。當時の此ドイツの現狀に比すれば今日の米國は大に進歩したものであるから、幼稚園の活動も亦フ氏のものに比すれば一層自然的で直接的であり、又眞實なる實社會生活の寫しである事が出来る筈である。フ氏の哲學思想とドイツの政治的理想の不一致といふ事がドイツ政府をして幼稚園に疑惑を抱かしめる事となつた。一方には又幼稚園に於ける單純なる社會生活が含蓄多い智的技術と化す事になつたのである。

忘れてならぬ誘導的效果

目白幼稚園 和田 實

幼児をして充分に幼児たらしめよ、と云ふこと即ち、幼児をして、二度と繰り返すことの出来ぬ幼児時代を充分に幼児らしく過させると云ふことは、現在、誰も異論のないところで、是が爲めに、幼児の自由、幼児の行樂、遊戲、玩具の豊富等、凡ゆる方面に幼児を優遇する旨趣が實行されて居ることは、誠に悦ばしいことに相違ない。が併し、物は過ぎれば弊を伴ふ。餘りに幼児を優遇する結果は、幼児をして、放恣、惰慢の習慣を馴致する様になつたり、或は、單に享樂を以て終らしむると云ふ様なことになり易い。

お話は幼児の好むものであるからと云ふので、繪本や幼年雜誌の類、皆、夫々、幾つかの童話や、小説めいたものを載せて居る。其内容を讀んで見ると幼児に知らせたくないもの、耳に入れたくないものを、材料として居ることが、随分多い。嘗て、小波氏が「童話は心の食事としてはお菓子に相當するものだ。三度の飯程滋養々々と云ふ譯には行かぬ。害がなければ食欲を満足させるだけでも差支はなからう。と云はれたことを記憶する。一面の理屈はある様だ。子供の一生は永い。聞く可きお話は随分澤山あらう。たまには滋養がなくても、あゝ、美味かつた」と云ふだけでも、爾後の食欲をそゝる効果はあらう。

併し、最れは教育の限界外のことである。教育の論議を離れての事である。吾等も人間である以上、時には、教育の限界を離れて生活することもあらう。其時には或は斯様な事もあらうか、けれども、苟も、教育論としては是は許されぬことだと思ふ。食事は身體を養ふ爲めに採る可きもので、決して、享樂の爲めのものではない。採る可き必要なくして採らしむることは攝度の良習慣を涵養す可き機會を逸するものである。今日は明日を誘導する。現在が未來を導き來すことを思つたら、微細も謹まねばならぬ。兎角、誘導の効果を忘れて材料の選擇を慎重にしないと云ふことは、陷り易い現在の弊風ではあるまいか。

童謡、舞踊は幼兒の天性から迸り出る快樂の泉である。近頃、舞謡や舞踊の盛んなことは何うであらう。今年の暑中休暇を充て込んで、所々に開催される講習會の種類だけでも、中々盛んなことである。文務省主催の講習だけでも、數百人の保姆諸君が熱心に講習される。爾餘の講習を合したい、小千人の保姆諸君は何れも皆新しい童謡、舞踊を講習されることであらう。其新しい童謡や舞踊が、果して皆、教育の目的に適ふものであらうか如何、是が頗る疑問である。中には小波氏の所謂、間食に匹敵するものはあるまいか、或はまた一時の興味は相當にあるとしても、其誘導的效果は却つて教育的でないと言ふ種類のものはあるまいか、頗る疑はしい次第である。吾等の見る所では却つて教育上、面白からぬものであると感ずるものがある様に思ふ。夫々専門の教育家が工夫されるのであるから、吾等の心配は杞憂に過ぎぬかも知れぬが……。

童話にしても、童謡にしても、又舞踊にしても、幼兒の遊戲生活の一端であることに相違はない。従つて、其實社會的價值と云ふものは、殆んど、零である。然も尙幼兒教育上に是等のものが重要視せらるゝものは其誘導的効果を評價するからである。幼兒教育の次に來る可き普通教育へ誘導する効果を考へるからである。此考へなくして幼兒の遊戲的生活は極めて價值少きものとなるのは止むを得ない。然るに保育者の多くには、何うも此處迄、氣附いて居る人が少い様である。童話を使うと云へば矢鱈に採用する。何等撰擇的條件も立てなければ分量の過不足も老へないと云ふ風である。新しく出來た童謡や舞踊は出るに従つて採用する。古きものゝ熟さぬに早や新しきを教へると云ふ風である。斯くては、徒に幼兒をして應接に忙殺せしむるばかりで、技術の熟練や進歩は望まれないばかりでなく、其誘導的効果を充分享受せしむることも出來ない。然のみならず、餘りに多くの材料に接觸する結果は輕跳浮薄の氣風を馴致することにならぬとも限らぬ。畢竟是等も保育材料の誘導的効果を充分考慮して掛らぬ爲めであると思ふ。

自由に存分に遊戲させると云ふ意味で、子供の「ふざける」ことや「道化する」ことを野放圖に許すばかりでなく、保育者が先達になつて、ふざけたり道化たりすることは所々の家庭で、能く見る所である。是も、或目論見の許に行はるゝならば宜しいが、無考へに行はるゝことは寒心す可きである。是と同様なことが、繪本の中に能く見られる。此間も或る繪本、然も數多の幼稚園の先生方を顧問や賛助員にして居る繪本の中に夏の題材として、極めて價值多き海邊の博物的行樂の模様を描くに道化した風彩を加へて

居つた題材が興味の少いものを取扱ふとでも云ふならば、時には少しく恕す可きではあるが、題材が既に非常に子供に興味があるもので、然も、眞面目に子供の自然科學的興味をそゝらねばならぬものを扱ひながら、要らざる道化た、惡ふざけの様子を交へて居る。是等は實に考へのない編輯の仕方だと思ふ。凡ての遊戲材料が何處に子供を誘導するだらうかと考へたら、逆も斯様なことは出來ぬ筈である。

又繪本に童謠其他の文句を附加することは、極めて、教育的措置と云つて然る可きではあるが、其童謠なり、文句なりには相當に教育的價值あるものを欲しい、少くも、繪の價值を一層大ならしむるだけの効果がなくてはならぬ。尙一步進んでは繪畫の意味を一層深重凱切ならしむる底のものが欲しい。誦して詩味を感じ、美感をそゝる様な字句を欲しい。平たく云へば、子供が一再ならず反復多かんことを好む様な文句が入れて欲しい。然るに、編輯者の注意が此處迄届いて居ないのが頗る多い。慨歎に堪えぬと云ひたくなる。況して、國定教科書の語法文法にも從はず、古來の慣用にも從はず、妙な假名遣を態として居るのなどは實に言語同斷と云はねばならぬ。

恩物や手技を課するにしても然うである。(課するなど云ふことは語弊があるかも知れぬが)恩物は夫れ自身、夫々の目的を持ては居るが、其誘導的效果は手技の前提としての夫れでなければならぬ。恩物の使用は手技の發達に結果づけるのが、其使命の一である。而して、手技は、また、後來の學習的手工圖畫、並に作業としての手工、圖畫に誘導するのが其任務である。是等誘導的效果を目論見の中に入れてずして幼兒の遊びを考へることは、徒に、人の子を害ふことになる云はねばならぬ。

幼 児 の 遊 園

井 下 清

兒童の生活は遊びが總てであつて、其遊びの間に健康に成長し又智識も植付けられるものであるとすれば、兒童にとつては善き遊び場は、その育成に缺くことの出来ぬ大功なものであつて、充分な榮養と共に適當な遊び場を與へることが小供を善く育てるに最も大切な方法であると思ふ。

遊びは小供だけに必要なことではなく、成人でも老境に達した方でも極めて自然に思ひ浮んで來る活動性から來るもので、天來の本能とでも見るべきである。遊びの氣持に豊かな者は自然人として常に潑瀾な希望と歡喜を持つて居るやうである。遊びの氣のない者は如何にも干乾らびた人生を送つて居るのであつて、常に灰色な理屈で自らを束縛して此の二度と來ない楽しい生涯をまるで工場のやうにしてしまふのではあるまいか。是に反して常に小供のやうに遊びを生活の一面に持つて居れば何日迄も小供の様に若々しく愉快な人生を送られるのであると思ふ。

兒童には遊びが必要であるから善い遊び場を與へなければならぬと云ふことも其れを理論的に考へ事務的に實行したとて、それは生命のない遊びと遊び場であつて決して兒童の本能を満し暖い喜びを與へ

るものではない。それで須く兒童の遊びと其遊園を研究し經營するには先づ此の精神を理解し小供と共に遊ぶ氣持に於てしなければ形だけの設備であつて、充分な働きを望むことは出來ぬ。殊に其の經營に於て小供と善く遊び導くだけの天分ある人に其大任を委ねることを前提として考へねば、如何に形に於て完備した遊園でも空地が材料置場で小供達が危険な遊びをなすのと少しも變らないことになる。

兒童遊園は小供の遊びの程度に依つて少年、少女と幼兒の三段に分けて考へることが出来る。此の分け方は國に依つて異り、遊びの趣味の旺んな處では其年齡的限界が高く、それに反對な處では低いのであるが、八九歳以上十三四歳迄の男女兒を少年、少女とし八九歳以下三四歳位を幼兒とするのが善い様に考へられる。十四五歳以上は兒童遊園の境を脱して青年組の下に入れる。殊に我國の如き早く小供がませる國に於ては此の程度ではないかと思ふ。之等の兒童遊園の内で幼兒期の小供の遊び場に就て鄙見を述べて見たい。

幼兒遊園は幼稚園の運動場でも公共的の兒童遊園であつても先づ相當な地域を得たい。幼兒期の遊びは極めて自然的でありたいので狭い處に設備本位の器械場の如きものとすることは過當でない。園は大體三區に區分して考へるのであつて、先づ中央には綠蔭樹で圍まれた自由廣場を置き其處で各種の集團遊戲や球戲をする。お祭りもやれば、鬼ごつこ、人とりもする。其一方には簡単な上屋か冷亭の如きものを設けてお話しの會や音樂、舞踊會のステージになる。時としては食堂晝寢のお家になつてもよい。

廣場は粘土質の土で平坦に造り粗目の砂を敷く方が自然であつてアスハルト、タイル、やコンクリートなどは避けたい。若し裝飾と利用上の必要から一部を廊下か露壇の如く敷石をしたい場合には色の美しい凝灰岩や砂岩類か又は粗面の色タイルを美しく廣場面と殆ど同高に敷くことがよい。

右の中央廣場の片側には色々な遊びの設備を配置した庭を設ける。幼児の遊びとしては第一に砂場であり第二も砂場である。砂場は地面より低くなく小高く盛上つたものがよい。其縁は周圍の土と混らぬだけの設備がほしいので板でも人造石でもよい。石なれば遊び臺を兼ねて上巾を六七寸以上地上八寸位の高さにすることも善い。此の場合全圍に設けるよりは半分位にして置く。砂の深さは地面下六七寸位迄入れ其底は排水を善くする爲め割栗張りの基礎を設けて置くことがよい。砂の質は泥や塵の無い砂で常に握れるだけの濕度を必要とする。砂場の形は何んでもよいが四角よりは圓形とか圖案的の形の方が趣があろう。然し砂場は唯單に廣場に清砂を盛上げたゞけて充分なのであつて兎角に必要でもない形に囚われて肝心の砂が尠なかつたり不潔であつたりすることが多いのは遺憾なことである。

砂場の附近には綠蔭樹が必要であるが盛砂の上は充分の日射がある方が善い。病弱兒は別であるが普通の小供には充分な日射に浴して勞働することは自然の慈母に育ぐまれてるやうなものである。砂場は手入が必要であつて放任された砂場な塵箱のやうなもので衛生上怒るべきものとも考へてよい。砂は毎日之れを鋤返し瓦礫其他夾雜物を除き充分日射を與へあまり汚れたら取替へ散逸したなれば補給して適

度の湿度を與へて小供が遊ぶ前に山のやうに盛上げて置く。此の手入は完全に實行して居る處は誠に尠なり。

此の砂場で小供はいろ／＼の形を作つて創造的智能を開發し、勞役の快味を味ふ。

砂場の外に種々の鞦韆を設ける。巾三寸位の板に腰を掛ける普通のものから椅子又は籠のもの、二人又は四人向ひ合つて掛けるもの、吊環式のもの等があるが何れも高きは此の年齢では地上七尺以下とする。鞦韆の下には砂は不用であるが木煉瓦など敷くことはよい。年少の小供には移動式のことを備へ木蔭から木蔭へ移すもよい。

滑臺は高さ六尺までの全部木製でこれも移動式のものをも備へることがよい。これは鞦韆の如く自ら動搖の程度を増減することが出来ないから高さと勾配の異なるものを備へ順次弱いものから強いものに移ることが必要であらう。

シート、地上の高さ一尺二三寸位の長さ七八尺位のものが適當であつて緩衝設備のあるものなれば一層よいが普通のを巧に乗りてなすことに遊びがある。

其他懸垂的興味を満す爲めの金棒、水平又は山形階梯なども低いものなれば危険はない。簡單なものとしては彈力板と杭木渡りなども適當な場所があれば幼児に喜ばれる。

高い處へ登る本能を満すには滑臺もあるがそれよりは原始的な木登りを安全に裝置した梯登り又は梓上

りなどがあるが何れも高さは六尺位を限度とし材料は鐵製が安全であるが、常に注意して管理するなれば四谷丸太で組合せる方が善い。

此等の設備は放任して置くのでなく巧に指導して利用したなれば小供の冒險心と征服心を満し其間に精神の安定と體力を増進し忍耐と努力の習慣を植へ付けることになる。

之等の設備的運動場と相對して自由廣場の他の側には自然を味はい自然智識を與へる庭園を置きたい。第一は割合に廣い芝生であつて、毎日茲で遊ぶことは出來ぬが芝が維持される程度に於て時々此の上で遊戲や踊やピクニックもお話しの會もする。芝は日本芝で常に充分な肥培手入が必要である。日射が充分で手入が行届けば相當に利用しても割合に損傷するものではない。

其傍には花壇と菜園を設け小供自ら花を作り野菜を作るのであるが、熱心な大人でもなか／＼上手に作れぬものを小供に任す事は勿論困難なことであれば、小供に一度不成功の失望を味はすと善い影響を與へぬからこれは指導者が豫め研究をして失敗のない様にする必要がある。

自然味を與へることは此の園藝的の區域のみでなく全園に風致と日蔭に種々の樹木花卉を植へるのであつて其等が總て自然教育の資料と見て善い。

遊園が斯く三區に分れるとは云へ、其れは説明上の計畫であつて、實際には地形や環境に依つて其れに適應した設計を爲すべきであるが、全國を統一して兒童の王國として考へる必要がある。それは遊び

が兒童の總てである以上、此園は其の王國であり家である氣持を持たして社會的に見聞するものが何等かの形式で備はることが出来れば申分ない。又遊戲に於ても行列をなして遊ぶ行進の如き場合全園を廻遊し得る地割がほしい。

之等の運動場の廣さは收容兒童一人に對し一坪以上三坪を必要とし其れ以上であれば二部制にでもするより外はない。

附屬設備としては幼稚園又は小學校の如き戸內的施設を本體とするものには必要はないが、戶外遊園のみの場合には遊具置場、携持品預場と管理者詰所等を兼ねた事務所の如きものと兒童の休養と冬期の戸內的遊び又は手工講話食堂等に使用する上屋、便所、手洗所、足洗所、水湯の呑場、時計などの外充分の休養腰掛が必要である。外に兒童の爲めなく保護者用の休憩所腰掛等も考へなければならぬ。

然し幼兒遊園としては他の兒童遊園と同様に幼兒を巧に取扱ふ善い指導者が何よりも大切なことであつて、それには小供を善く理解し快活にして健康な人格者であつて遊びと話し、手工、音樂等の技倆ある人でなくてはならぬ。然も小供に好かれる素質の人であるべきは勿論である。

要するに幼兒の遊園には廣い處に善い設備と善いお母さまかお兄さまが必要であつて此の何れを缺いても善い遊園とは云ふことが出来ぬ。(四、七、一一)

狐 火

水 谷 年 恵

あはれにも明滅すなり眞夜中のあはれは狐火大川堤。

私の詠みました此の腰折の大川堤は、濃尾平野を北から南へ流れる日光川の堤であります。

春が来ると、黄金の頭巾を被つた蒲公英や、紗の袴を穿いた土筆ん坊で、西と東の堤が彩られます。春風と連立つて流れる豊かな水が、兩岸の蘆の芽を、いたはるやうにひたひたと音をたてて撫でて行きます。その蘆の芽が伸びて茂つて、夕風に爽かな音を作つて鳴る頃になると、螢が飛んだり、すいっちよんが歌つたりします。狐が火をともして、兩側の堤を行きつもとどろつするのは、此の春から夏へかけての眞夜中であります。

星のまたゝく夜空の下に、村々がひっそりと寢静まつた丑三つ頃、戸外に出て見ると、きつと大川堤に明滅する狐の赤い火を望み見る事が出来ます。狐はあの火をどうしてとすのであらう、火をともして毎晩どこへ行くのであらうと、私は子供の時分——今でも不審はそのまゝ持つてゐますが——不思議で不思議でたまりませんでした。

狐の穴はきつと蘆の茂みの中にあるのでせう。晝の間は穴の中にひそまつてゐて、夜になると穴から出て来て火をとますのでせう。私のひいぢいさんは此の川の西の村から大橋を渡つた東の村へ養子に來た人でありました。

末の孫にあたる私の母が、此のおぢいさんの大切に持つて居た桑の杖を欲しがつて、

「おぢいさん、此の棒をあたしに下さらない。」

とねだると、

「これはな、俺の大事な大事な杖ぢや、いくらおぬしが欲しがつてもこれだけは遣れないよ。」

と言つて、どうしても呉れなかつたさうです。孫があまりねだると、おぢいさんは、

「此の杖がないと、俺は在所（おぢいさんのお里）へ歸れん。大橋を通ると、きつと狐が嫁入をやる。その嫁入の行列を此の杖でぶつたたくのぢやからな。」

と言つて、にこつと笑つたさうです。

ひいぢいさんは實家へ歸るのに決して晝間は出掛けません。必ず眞夜中を選んで行きました。それも月の明るい晩を避けて、闇夜の、星あかりで田圃道がやつとすかされるやうな夜、のつそりと出掛けました。ふと眼をあげて前方を見ると、堤を無數の赤い火が大橋の方へ點々と列をなして動いて居ます。

「出をつたな。」

と、ひいぢいさんは桑の杖を握り直して、元氣よく暗がりの道を大橋さして運びました。橋の袂にさしかゝると、向ふの橋の袂へ先頭の赤い火がさしかゝつて居ました。

狐の嫁入り——花嫁は夜目にもしるき金びかのお駕籠の中に、簞笥、長持幾十棹、大小さしたちよん鬘や、ぬひとり模様の裾重たげな御殿女中が、手ん手に赤い提灯さげて、ものも言はず、足音もたてず大橋の上を一ぱいに弘がつて練つて來ます。ひいぢいさんは、

「こらつ、ど狐め、いゝ加減にしろい。」

破れんばかりの大聲でがなつて、桑の杖をふりあげ、手あたり次第になぐり散らすと、ちよん鬘が轉んで、ぬひとり模様がへたばり、お駕籠がひつくりかへつて、長持がころがる。無數の赤い火がぱつと一時に消えて、橋の上の暗がりの中には自分がたつた一人つきり。ひいぢいさんはからからと笑つて、あとは鼻歌でぶらり／＼と行くのでした。

「おぢいさん、狐の嫁入をなぜなぐるの、可哀相ぢやないの。」
隅に言はれて、おぢいさんは、

「なあに、ど狐が人をばかしてゐるのだよ。なぐられても痛くも痒くもないんだよ。」

かう言つて、面白くて堪らなさうに聲を出して笑ふのでありました。此のひいぢいさんが、何時からか大好きな夜道をふつつりと止めてしまひました。

「おぢいさん、もう狐の嫁入をなぐりに行かないの。」

「うん、もう止めたよ。腰が痛くてな。」

孫にはかう言ひましたが、本當は腰が痛いからではなかつたのでした。さしものひいぢいさんも、心の底の底から懲り／＼した晩があつたからでした。と言ふのは、例によつて例の通り、或晩闇を幸、祕藏の桑の杖を握つて、大橋にさしかゝりましたが、どうした事か其の晩に限つて來るべき筈の狐の嫁入がやつて來ません。「はてな」とひいぢいさんは暫くこちらの橋の袂で待合せましたが、一向來かゝる氣配がありません、橋を渡つてしまつても出さうな様子は見えないのでがつかりしてしまひました。

「ひよつとしたら、堤の上で出會ふのかも知れん。」

かう思つて、眞夜中の堤を一二丁歩いて行きました。川水が闇の底で薄く光つて、折からの一陣の風に、蘆の葉がざわめいたかと思ふと、遙かの川上に赤い火がぼかつと一つともりました。

「しめたつ。」

と思ふ間に、其の赤い火は非常な速力で近づいて來ました。茶碗の丸さに、金盃程に、それが見る間に大きな盞のやうになつて、ひいぢいさんに迫つて來ました。しかも其の火の玉の中に、牛とも馬とも分明せぬ顔が一つ、一段と濃い血の色に燃えて、かつと見開いた兩眼の光ものすごく、びゆうつとばかりうなりの尾を曳いて、ひいぢいさんとすれちがひ様に、ぎよろつとにらんだ瞬間ぢいさんを跳ね飛ばし

て遙の川下へ飛んで行つてしまひました。

ころがり落ちたのは流れと反對の田圃の中でありましたが、ひいぢいさんはおど毛をふるつて、堤の上へ這ひ上つて、そつと川下の方を見た時、大火の玉はじいゝつと動かずに、何かの顔の眼玉がひいぢいさんを見据ゑたまゝで一つ所に止つて居ました。

冷汗を流して、ひいぢいさんは在所の村のとりつきの農家まで辿り着くと、戸をたゝいて人を頼み、實家の門まで送つて貰つたのでした。そして桑の杖などもう何處かへなくしてしまつて居ました。

ひいぢいさんが亡くなつてから何十年と言ふ月日が流れました。末の孫であつた私の母も老婆になつて三年前に世を去りました。さう言ふ私がもう孫に此の話を聞かせる齡に近くなりました。大川堤の真夜中の狐火は、今も變りなく神祕の明滅を續けて居ります。

童話の翻譯（お話漫筆の五）

長尾 豊

一

「翻譯者は反逆者なり。」とか言つて譯文が原文の持つてゐる味や匂ひを害なふところから、文學の翻譯といふものは不可能のやうにいふ人もある。詩歌や童謡は其の意味を傳へることは出來ても、其の形の面白味、言葉のひびき、それらが意味を助けてゐるやうなところまでは、違つた國語では先づ現はし憎いものと思はれる。勿論どの國のどの文學を採つて見ても、翻譯し得べき部分と、翻譯しがたい部分とあるから、全く不可能とすることは出來ないが、詩歌童謡及びそれに近いものは

困難である。童話の翻譯といふやうな仕事も、甚だ困難なものであつて、同じく筆を執る人の仲間からも餘り尊敬されないものらしい。「中學生でもする翻譯をして作家顔も凄まじい。」とか、「童話の翻譯などは語學が少し出來て、子供のことが少し分れば誰でも出來る。」といふやうな言葉をよく見たり聞いたりする。今までの童話翻譯の多くが實際また此の人達のいふ通りであつたとしても、それだからと言つて童話翻譯までも輕蔑することはない。

巖谷小波氏の「世界お伽噺」の翻譯は、坪内逍遙氏の沙翁劇のやうに十分コナれたもので、譯述と

も稱すべきものである。或時は反案に近いまでの自由な意譯、改削を施さるゝ所に却つて創作的な手腕が認められる。けれどもこれは「譯者」の中に「作者」があることを忘れてはならない。そして其の譯述に口演的な注意が拂はれてゐるので、読み易いよく分るものと成つてゐる。これは誰もすぐ學んで到り得る際ではない。かういふ譯を見てゆくと、「翻譯とは創作なり。」といふ言葉が思出される。

二

多くの翻譯童話が原文に忠實なものはむづかしく、読み憎く、さうでもないものは只の骨がきつな紹介で、少し詳しい梗概を読むと大した變りがないのは、つまり原話の味と文體や叙述の妙を見ることが、これはもつとも千萬なことではあらうが、邦語にうつす手際と、そして「お話」といふも

のに對する分り方、考へ方が足りないのではないかとも思ふ。敬體の口語を使ひながら、口演風の注意が缺ければ翻譯童話はカナリに洋文脈のむづかしい読みものにならうし、意味や興味を傳へることに急で、「お話」を傳へなければ生硬な筋書にも、又和臭ふんぷんたるものにもならう。

童話の翻譯が決して容易なものでないことは分り切つた話だからこゝには二三の例を擧げて其の一端をしるすに止めよう。

或兒童讀物に、「其の女の男の子です。」といふ句があるのを見て、子供が「女の男の子」とは分らないと言つて來た。原文を見るとハア・ソン、彼女の男兒、お話風に言へば其の女の息子なのである。これは誤譯ではないが餘り良譯ではない。しかもかういふ類のことは童話翻譯書に少なくない。

グリムの『灰娘』や『ヘンゼルとグレーテル』などは其の叙述描寫が巧みなもので、又聲を出して讀ん

ないのではないかとも思つてゐる。

三

今日の童話文學者が好んで用ひる「春でありますした。」とか「高くありました。」とかいふのも、翻譯から來た筆癖のひとつではないかと思はるゝしもある。それも好いが今に「春でした。」とか「高く上つて居ました。」とか分り易く言つたのでは童話文學でないやうに思ふ者が出るとすると、そして其の風が擴がるとお話が又むづかしく、ギョチなくなるかとも先づ危ぶまれる。

でゐると氣持が好いのでよく讀めもしない原文を引出して見る。

又さういふ一節一段の長いものでなくても、「昔マリグリアノの土地にマゼルラといふ貧乏な女がありました。」といふ、『五日物語』にある鬼の話の冒頭を、ラングの再話本で見てもちよつと面白く思はれる。イギリス噺の『酢爺さんと酢婆さん』爺さんの留守に婆さんが掃除をして塙のお家をはす所に、クリッタクラッタといふ音喩が使つてあるが、ベエリイ女史の再話には其の音喩は採つてないが、「小さな箒で塙が粉々にこはれる程……」といふ所に、ブルウム、ボトル、プロオク、ビッツとビイのつく字が幾つか疊み掛けて使つてある。又フアイルマン女史の童話集の中には、切れ目切れ目に同音の文字を置いて踏韻のやうになつてゐるものもある。すべてかういふ所は聲を出して讀んで見ないとちよつと氣が附かず、又十分に味へ

いはゆる創作家の童話でない、童話作家の童話には、敬語だくさんの「あ」の字のついた言葉の多いものは少ないが、それが翻譯となると王様やお姫様がむやみに飛出すせいか、煩はしいものがあり、引いてはそれが一般のお話を冗長なものとする傾きもないではない。これらは子供に對する譯

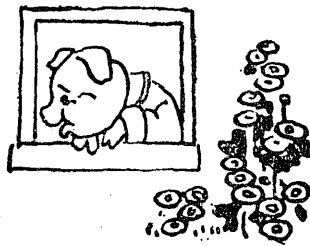
者の老婆親切とも稱すべきで、過ぎたるはなほ及ばざる感がある。用語にしても、ライオンはライオンでも獅子でも分る。それを「お獅子」と言はれると子供達は獅子頭を冠つた人間の方を餘許に連想するらしい。ところがさういふ類の翻譯に限つて、きつと一方には子供達の受容の範圍を飛越え、たむづかしい言葉や、疎雑な言葉、耳遠い方言や地方的な言まはしが飛出す。

賤しい男の口吻にもせよ、「あれ」で分る所に「レコ」とか「やつ」とかは言ひたくない。又悪い女のトリツクにもせよ、「てれんてくだ」などとは使ひたくない。

文體や用語のことを言出したら、多くの翻譯童話は、其の内容がどうあらうとも安心して子供に與へられるものかどうかといふ事にもならう。

分らぬ譯、味を傳へてゐない譯では困るが、お話として傳へられたものならば、なまじひに子供

の爲を思つだやさしさうなものよりも、大人向きにシツカリと譯されたものゝ方が、話材としては役に立つわけである。



夏期休暇中に採集せし自然物に就て

膳 眞 規 子

都會の幼稚園に従事いたして居ります者は可成
幼兒教育の爲に自然物採集を心懸け郊外又は海邊
等へ出かけます必要を感じましては其實行に努め
て居りました。殊に同僚の人達と打ち連れて機會
ある毎に郊外に出かけましては大自然に接觸いた
します事は何とも申様な偉大なる教育をされま
して實に愉快爽快さを感じます事で御座います。

右申述べました如く一同打ち連れて遊行に出か
けました節には必自然物を採集して歸ります事が
一つ道樂となつて居りました。自然物を採集して
歸りました節には必ず幼兒に觀察させます爲めに
陳列致します。又材料豊富なる場合には、幼兒に

與へまして、思ふ儘に玩弄させまして幼兒より巧
みに玩具化します實際を學び又は室内裝飾用又は
植物を鉢植ふとして培養するなど中々興味深き物
の一として數へられて居ります。殊に夏の休暇は
最も時日長く御座いますので泊りがけて出かける
事も出来又遠方の地迄も脚を延ばす事も出来まし
て都合よく御座います。好に此夏期休暇を利用い
たしまして一は自分の修養もいたしますが、又一
方には單獨海水浴又は歸省等にて夫れ／＼思ふ儘
の行動をいたします。其節にも到る處にて自然物
を得て歸ります事が長さ間の一の習慣になつて居
りました。夏休みも無事に終りましていよく九

月一日には、幼稚園が始ります日には、第一幼児達に久し振りに面會いたします樂しさと共に休み中に集めました自然物を各持寄りまして、休み中の嬉しかりし事、又樂しかりし事等を互に語り會ひます事も中々興味深き事で御座います。夏休み後はそれ／＼休み中に集めました自然物を尤も美的に陳列いたします。又幼兒の自然物を玩具化した物を最も貴き物として大切に歡迎いたしましたして陳列いたします。右申陳べました如く最初の程は保姆一同で採集いたして居りましたが、此自然物の幼兒に玩弄上變化が多く今一つは自然物の色と申す物は人工にて着色いたしました様な比では御座いませず、何とも申様なき氣持よき色彩で御座いますので、自然物を使用いたしつけますとやめられませんでした御座います。今一つは自然物學習の點からも又最も有益で御座いますので、保姆一同が試みました採集の事が動機となりましたとて

も申ませうか、家庭の人達も又幼兒も之れに興味を持つ様になつて來まして種々なる自然物を寄贈さるゝ様になりました。或年の夏一同みな連れまして淡路島の知人の別荘に出かけました。此地は潮流の變化激しき海の事とて非常に水も奇麗砂も又奇麗又貝殻も實に豊富にて隨分澤山に拾ひました。又幼兒の家庭でも此年は隨分多く海邊に行れたもので種々な自然物を寄贈して下さいましたので、此豊富なる材料を以て幼兒は面白く遊びまして、巧みに玩具化された物が出來まして此興味深き品々は何れも大に歡迎いたしましたして、夫れ／＼陳列いたしましたが、材料豊富なる作品多き爲め十二坪なる應接室を全部此陳列場に宛てました處、幼兒は此喜びの例ふるものなく一時は室内は歡聲に満ちました。此陳列を幼兒等は博覽會々々と申して大得意然として居ります。十日間も陳列いたしましたれば此陳列を止め様と存じて居り

ましたが、幼児は自分が努力したものの又は玩具化

した作品のある事として非常に之れに興味を持つて

居りまして、九月中此應接室は博覧會の持ち切日

で家庭の人達も非常に趣味深く觀て下さいまし

た。又此陳列の事が新聞紙上にて寫眞を載せ夏期

中の僅かの心がけ一つにて何等の出費も要せずし

て斯くも有益なる催の出來ならるゝ事にて殊に都

市の幼児には自然に親しめる一つの良き方便とな

り、又家庭の人達も興味を持たしむる事も出來誠

に効果ある陳列なり是非家庭のお母様達は一度參

觀せられよ。幼児教育上參考になる云々の記事に

より又々多數の觀覽者にて實に催し甲斐の有りた

る事を嬉しく存じました。

右は大略を申陳べました事で、自然物採集に興

味さへ御有りの方々なれば至て容易く實行いたし

ます事が出來ます。時恰も夏期の休みに際し御採

集には尤もよき期節で御座いますので茲に申上げ

ます事に致しました。以上

酸漿や昭りかたまりし庭の隅

野 萩

夕顔やうつぼ柱に影法師

宙 斗

幼児のお友達になつてゐる自然

一、あなたの幼稚園で飼育してゐらつしやる動物

二、今月あなたの幼稚園で咲いてゐる花

右の二項につきお尋ねいたしました處、早速各幼稚園から御回答いただき感謝いたします。
誌上で想像した丈けでも動物の可愛らしさ、花の美しさが想像せられます。

(以下到着順)

東京 朝海幼稚園

一、文鳥 せきせいいんこ 十姉妹 鶏 傳書鳩

一、カナリヤ 十姉妹 せきせいいんこ。

金魚 鯉 蛙 蟹

二、百日草 孔雀草 ほゝずき 朝顔 松葉ぼた
ん 常撫子 さつき 桔梗 いんげん豆の花

埼玉 熊谷幼稚園

二、ダリア ベコニア 月見草 百日草 けし
紫陽花 柘榴 美容柳 ばら 睡蓮 アルメリ
ア 糸あやめ 朝鮮朝顔 松葉ぼた 紫露草

一、兎 小鳥 蠶 毛虫

二、ナスティシヨン ほたる草 蛇の目草 石竹

日々草 其の他四五種

蛇の目草 雪の下 丹波ほゝずき さつき 千
なりほゝずき 枇杷 柿 葡萄 無花果 栗
柘榴

東京 瑞穂幼稚園

東京 深川幼稚園

一、兎 鳩 十姉妹 せきせい 金魚 龜

二、月見草 孔雀草 螢草

埼玉 浦和幼稚園

一、十姉妹 いんこ 鶏 鳩 鷺 金魚 鯉 鮒

二、ダリア カンナ 睡蓮 セルビア ペコニア

バラ 百合 常夏 蠅取撫子 孔雀草

横須賀市 教育會幼稚園

一、兎 金魚

二、葵 とさしらず 孔雀草 ダリア 千鳥草

鳳仙花 紫露草

富山幼稚園

一、十姉妹 せきせい いんこ 金魚 犬 兎

二、泰山本 スイートアリサム 虫捕撫子 クロ

イバー 金仙花 撫子 百合 柳 三色すみれ

ひな菊 紫陽花

岩手縣 女師附屬幼稚園

一、なし

二、矢車草 あやめ 虫捕撫子 マーガレット

露草

和歌山幼稚園

一、十姉妹 せきせい あひる 龜 鯉 金魚

めだか

二、ダリア カリーネ シヨン カンナ ゼラニウ

ム グラチオラス 仙人掌 朝顔 立葵 紫陽

花 美女櫻 百合 ぎぼし 金魚草 金蓮花

撫子 鳳仙花 百日草 アスター 露草 デキ

タリス サルスベリ 四季咲の萩 夾竹桃 瓢

箆 糸瓜等

群馬縣 高崎幼稚園

一、カナリア 十姉妹 せきせい 金魚 鯉 其

の他 雜魚 食用蛙等

二、紫陽花 ダリア あやめ さつき ばら等

(季節の花を得る方便として花卉同好會より時
季の草死の鉢植及び切花等を常に配布いたしま

す)

福島縣 福島幼稚園

一、十姉妹 いんこ

二、花菖蒲 つしぢ 葵 カンナ ダリア 月見

草 かすみ草 キャンデータフト 金蓮花 露

草 さぼてん 黄菊 いはぼたん

千葉縣 女子師附屬幼稚園

一、小鳥類 金魚

二、けし 松葉ぼたん 露草 葵 グラデヲラス

はるしやぎく 朝鮮朝顔 デイデー 紫陽花

ロベリア 蛇の目草

東京 番町小學校附屬幼稚園

一、兎 鳩 十姉妹 いんこ お玉じやくし 蝸

牛 猿

二、バンデー つくばね朝顔 葵 スイートピー

鳳仙花 金魚草 貝殻草 松葉菊 ひなぎく

無名幼稚園

一、いんこ 十姉妹 金魚

二、吾妻菊 日百合 葵 金魚草 ホクシヤ 撫

子 金蓮花

福島縣 郡山幼稚園

一、せきせい いんこ

二、植物では幼児が一鉢宛の朝顔を培養してゐまして二百五十鉢あります。毎日幼児が水を與へて花の咲くのを待つてゐます。庭園には六尺あまりもある大きい葵が二十餘株あつて、白、赤、桃、しほり等それ／＼咲きほこつてゐます。其の根下には大輪の濱菊が白々と咲き亂れました。其の他あいらん草、ビロード草、石竹、あざさい、矢車草等さま／＼咲いて居ります。室内には西洋葵やゼラニウムや石竹やペロニア等の鉢物か何の保育室にも飾られてゐます。

神奈川縣 逗子幼稚園

一、鳩 十姉妹 せきせい いんこ 文鳥

二、朝顔 ばら おいらん草

東京 牛込分園

東洋幼稚園

一、金魚 鯉 龜 鶏

高麗鳩 銀鳩 金華鳥

櫻文鳥 文鳥 十姉妹

雲雀 カナリヤ

二、ひまわり 葉雞頭

朝顔 鶏頭

福岡縣 救世軍

第一幼稚園

一、カナリヤ 七寶鳥

鶉 チャボ 金魚

二、ダリア へちま ひ

ようたん 苦瓜 とま

と 葵 杏竹唐 ひで

り草



カイネーション

池おの園稚幼屬附師高女良奈

高松 中央幼稚園

一、十姉妹 鳩 兎 二

十日鼠 目高 金魚

鯉

二、朝顔 月見草 バラ

矢車草 柘榴 姫菖蒲

撫子 春車菊 ほしず

きダリア ひでり草

ダイアモンド草 露草

カンナ

神戸 頤榮幼稚園

一、十姉妹 金魚

二、グラデヲラス ダリ

ア キキヤウ 百日草

金魚草 ビロード草

朝顔 マーガレット

奈良 女高師附屬幼稚園

一、兎 家鴨 孔雀 小鳥

二、グラデヲラス ゼラニウム 朝顔 美女櫻

姫日まわり アスター カネーシオン はる

しや菊 ダリア 立葵 ヒメシラン

福山市 福山幼稚園

一、鳩 十姉妹 鶏 カナリヤ 金魚 龜

二、きようちくとう むくぐ 柘榴 バラ すみ

れ 撫子 おいらん草 ダリア 金魚草 百合

黄百合 石竹 露草 茄子 鋸草 とうもろこ

し マガレット 百日草 とうろく豆 葵 き

んし勳草 朝顔 魚柳

大阪 愛珠幼稚園

一、金魚 鯉 龜 せきせい 十姉妹

二、朝顔 紫陽花 まくちゆう 夾竹桃 木れん

大阪 女子師附屬幼稚園

一、山羊 兎 栗鼠 鳩 龜 せきせい いんこ

十姉妹 鯉 金魚 蟹

二、はるしや菊 日まわり 金魚草 バンデー

ききよう 石竹 鳳仙花 ゼラニウム のうぜ

んはれん ベコニア シヤスターデージー 紫

陽花 クローバー カンナ ダリア デキタリ

スルービン 松葉ぼたん 朝顔 唐胡摩 カ

ネーシオン 春菊 アメリカ菊 鶏頭 トマ

ト 柘榴 泰山木

大分縣 大分幼稚園

一、カナリヤ せきせい 十姉妹 目白 兎 金

魚 お玉杓子 鳩

二、ダリア 千鳥草 ひでり草 日まわり 矢車

草 除虫菊

足利 友愛幼稚園

一、蟻(硝子容器中ニ、蕃殖及營巢狀態視察用)

二、春雨草 紫露草 鋸草 金鶏草 萬年菊 ポ

ビーダリア 百合

岡山縣 倉敷幼稚園

一、兎 モルモット 鳩 せきせい 十姉妹 目

白 金魚 其の他小魚類

二、バラ うちなし ダリア カンナ 夏菊 千

鳥草 キリン草 矢車草 ゼラニウム カーネ

ーション ルビネス 金魚草 ひな菊 はるし

や菊 アメリカ濱菊 花菱草 スキートビー

百日草 立葵 朝顔 日どり草 白柘榴 夾竹

桃 へちま ほうずき 茄子 トマト

佐賀婦人會附屬幼稚園

一、飼育の準備なし

二、日扇のみ

三重縣 四日市幼稚園

一、兎 十姉妹 文鳥 鶴せい

二、除虫菊 ムギ撫子 花柳 つくばね朝顔 朝

顔 月見草 貝殻草 鋸草 釣鐘草 鳳仙花

竹に草 虫取なでしこ 孔雀草 紫露草 かん

そう 金魚草 石竹 紫陽花 朝鮮あやめ カ

ーネシオン 矢車草 葵 金菖蒲 バラ つげ

クレオメ草 日まはり草 ギボ ざくろ 松葉

菊

大分縣 成蹊幼稚園

一、動物なし

二、鈴蘭 桔梗 夏菊 ダリヤ 百合 朝顔

旭川 精華女學校附屬幼稚園

一、チャボ 十姉妹 セキセイインコ 金魚

二、藤 牡丹 躑躅 かきつばた いでしほ 鈴

蘭 トキシラズ 芍藥 バラ サビタ マルバ

シモツケ フレツブ 岩桔梗 大文字草 ハク

バアサツキ 千島ルクソウ ヒメヤラハナソウ

アカノツガザイラ

岡山 女子師範學校附屬幼稚園

一、兎 雞 鳩 あうむ 小猫 小犬 小禽類

二、グラジラス ひなけし ダリヤ 朝顔 金

魚草 花菱草 おしろい草 紫露草 葵 芙蓉

クロイバ ベコニア ビロード草 書顔 オ

キザリス もつこく 虫取撫子 ゼラニウム

カーネーション 柘榴 口なし ひでり草 菊

はるしや菊 鋸草 紫陽花

大阪 中大 江幼稚園

一、兎 雞 鳩 せきせい 十姉妹 鮎 鯉

金魚

二、グラヂララス シヤスタデージー ベコニア

朝顔 霧島 夾竹桃 ぎばうし 葵 ゼラニウ

ム

京都 待賢幼稚園

一、せきせい 十姉妹 金魚 龜

二、立葵 桔梗 撫子 鳳仙花 朝顔 金鶏草

ひめとうしようぶ

青森 女子師範附屬幼稚園

一、セキセイインコ 十姉妹 紅雀 カナリヤ

うそ 兎 金魚 鮎 龜 お玉じやくし やど
げんごらう 子負蟲 雨ん棒 白魚

二、バラ 京かのこ あやめ すかし百合 矢車

花 除虫菊 石竹 唐撫子 カーネーション

くかい草 アルメリヤ 都わすれ ボクシヤ

じやこう葵 金仙花 スキートビー 豌豆 フ

ロックスドラモンデー 紫露草 三色すみれ

葉ぼたんの花 デギタリス

岡山 深抵幼稚園

一、ふくろ 九官鳥 十姉妹 せきせい カナリ

ヤ 傳書鳩 鳩 猿 白わずみ 兎 雞及ひな

金魚 龜 緋鯉 鱒 目高 なまず 真鯉 川

ゑび うなぎ 蟹

二、もくげ(白赤)花柘榴 くちなし 芭蕉 常葉

木蓮 バラ 紫陽花 朝顔 バチカ 系瓜 瓢

箆 茄子 西瓜 胡瓜 百合 山百合 鹿の子

百合 石竹 カーネーション はるしやぎく

うらしま 鳳仙花 鳳んけい草 クローバー

花かたばみ ひまわり ひでり草 松葉ぼたん

水蓮 グラデヲラス ゼラニウム 露草 立葵

花芭蕉 てんしゆぼたん 夏コスモス 風船草

オランダ草 夏菊 鋸草 ダリヤ 水玉 おぢ

き草

無名幼稚園

一、鶏 セキセイインコ 十姉妹 紅雀 文鳥

カナリヤ 頸白 鯉 金魚 龜

二、茨竹桃 くちなし つゝぢ バラ 孔雀草

マガレット ダリヤ バンデー 睡蓮 立葵

ぎぼうし 月見草 鳳仙花 ゼラニウム ベコ

ニア きりん草 鐵砲百合 紫陽花 枝蔓蘭

大豆 豌豆

宮崎市 宮崎幼稚園

一、飼育動物なし

二、紅菖蒲 ダリア

東京 目白幼稚園

一、セキセイ 十姉妹 文鳥 駒鼠 鳩

二、胡瓜 茄子 いんげん フロックス ダリア

一、カナリヤ 十姉妹 セキセイインコ 目白

鶏 兎 金魚 鰯 龜 鈴虫

二、朝顔 ダリヤ モントフリジャ 紫陽花 マ

ルイ草 石竹 鳳仙花 松葉ぼたん 浦島草

えぞ菊 がんび百合 金魚草 バラ かきつば

た 夏菊

た 夏菊

東京 本郷區第一幼稚園

一、目高 蛙 こうろぎ

二、孔雀草 ひめりゆうじ 虫取撫子 黄金草

ぎぼうし ダリヤ 姫シラン かく

高知市 第一幼稚園

一、金魚 鯉 龜 白兎 モルモット 十姉妹

ヤキセイ

二、ダリヤ カンナ むくげ ほろびん草 鳳仙

紅葵 ちろり草 千日紅 ちご櫻

愛媛縣 女師附屬幼稚園

一、鶏 兎 鳩 十姉妹 金を 鱈 お玉杓子

二、朝顔 虫取撫子 白百合 金蓮花 葵 糸蘭

ダリヤ

甲府 進徳幼稚園

一、ホロ／＼鳥

、バラ 紫陽花 柘榴 金盞花 孔雀草 月見

草 百合花 フロクストドラモンデー 早咲コス

モス マンモスバーベナ 松葉牡丹 露草 三

色菫 飛燕草

大津市 大津幼稚園

一、十姉妹 セキセイ 傳書鳩 金菊 お玉杓子

鶏 兎

二、バラ 撫子 大輪デージー 夏菊 鳳仙花

朝顔 ペコニア 櫻草 白百合 ダリヤ セラ

ニウム 睡蓮 朝鮮朝顔

金澤市 北陸女學校附屬幼稚園

一、鶏 十姉妹

一、フラオルビンズ カリフォルニアバービス

葵 マーガレット 紫陽花 石竹 オランダ桔

梗 百日草 松葉牡丹 つゝぢ 花柘榴 カナ

リヤ

札幌市 若葉幼稚園

一、十姉妹

二、金盞花 時しらず 野菊 忘れな草 躑躅

葵 蝶々花

小倉市 小倉幼稚園

一、十姉妹 セキセイインコ(ブリュイ黄白)

鳥 七面鳥

二、ダンドフ カンナ 糸瓜 朝顔 葵 ばら

日照草 紫陽花 藪甘草 ダリア 天竺(ぼたん)

熊本市 壺川幼稚園

一、カナリヤ セキセイ 十姉妹 兎 モルモツ

ト 龜 鯉 金魚

二、朝顔 バラ ベコニア 睡蓮 鳳仙花 浦島

サルビア オ、ゴン 金蓮花 おしろい とら

のを

廣島縣 女師附屬幼稚園

一、山羊 傳書鳩 セキセイ 十姉妹

二、おしろい花 葵 鳳仙花 松葉ぼたん 露草

朝顔 カンナ ダリヤ クローバーの花 ゼラ

ニウム 朝鮮朝顔 ひまわり 花豆

宮城縣 宮城幼稚園

一、セキセイインコ 十姉妹 雞 紅雀 山雀

錦華鳥

二、朝顔 山百合 その他西洋草花



一、幼稚園及び小學校、家庭、育児、看護等に關する論說調査研究等の寄稿を歡迎いたします。

一、寄稿は一行二十四字詰に記して下さい。但改行は一字下げること、また句讀點は一字あけること。

一、寄稿並に本誌の編輯に關する通信、紹介及び寄贈の新聞書、交換雜誌、入會手續、更に

本誌の購讀及び廣告に關する通信並に照會等一切左記編輯兼發行所宛に願ひます。

東京女子高等師範學校附屬幼稚園内

日本幼稚園協會

一、本誌御注文の方は凡て前金（郵税共）で願ひます。（郵便代用の場合には總て一割増）

一、御送金の場合にはなるべく振替貯金で振替口座東京一七二六六番日本幼稚園協會宛に願ひます。

一、送金の節には第何巻第何月號より第何月號迄と明記せられたし。

一、本誌の代金に對しては別に領收證を差出しません。特に御入用の方は往復はがきで御申越を願ひます。

一、會費切又は前金切の際にはその最終發送の雜誌の帶封に「前金切」の印章を押捺いたしますから其節は早速御送金を願ひます。

一、本誌の見本御入用の場合には前金參拾五錢發送を願ひます。

定價

一ヶ月分一冊	金參拾五錢	送料壹錢
半ヶ年分六冊	金貳圓拾錢	送料共
一ヶ年拾貳冊	金四圓貳拾錢	送料共

（外國行郵税は一部金拾貳錢の割にて御拂込下さい）

昭和四年八月十二日印刷納本
昭和四年八月十五日發行

幼兒の教育 第二十九卷第八號

不許複製 轉載

編輯兼發行者 堀 七 藏
東京府豐多摩郡戸塚町大字戸塚五七五

印刷者 猪 木 卓 二
東京市麹町區飯田町二丁目五十番地

印刷所 京華社印刷所
東京市麹町區飯田町二丁目五十番地

發行所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園内
日本幼稚園協會
振替口座東京一七二六六番

廣告

特等面一頁 金參拾圓	二等面一頁 金貳拾圓
一等面一頁 金貳拾五圓	一頁以下御斷

神田區南甲賀町八品田奥松に御申込下さい。

東京高等師範學校教授 文學博士 檜崎淺太郎先生著

菊判洋裝 定價二圓卅錢 送料金十八錢

學校選擇 職業指導

兒童素質検査法

入塾試験廢止に伴ふ兒童素質検査の方法とその標準

小學校卒業生の將來進むべき學校選擇と從事すべき職業的選擇を限らんか、其損失は怖らく終生の物である。吾等は學校の試験制度や卒業生の就職難や其他職業的缺陷を論議する以前に最も根本的問題として、兒童の一般素質検査の素質並に特殊の素質即ち職業的素質等を合理的に利用する方法の下の検査して、最も適材を最も適所に進め得しめ兒童の能力を充分に發展せしめてこそ個々の幸福理想に到達すべき筈である。本書は檜崎博士の著しめ一般素質検査の「試」の中より兒童の學校選擇と職業指導を爲す標準となるべき唯一の指針である。

東京高等師範學校教授 文學博士 檜崎淺太郎先生新著

三版 心理學概論 第一卷

菊判洋裝 定價二圓卅錢 送料金十八錢

本書は現代心理學の諸傾向に筆を起し次に心理學序論に入り更に人間性概論に到り最後に人間性各論に於て先生日常の蘊蓄を傾注せらるゝ、その組織的體系は言はずも哉、構想の偉大、立論の正鵠の更に嚴正的批判、獨自の研究等斯學の研究者は勿論教育家一般識者は本書に依つて開發せられ、指導せられ研究の前途を摘示せらるゝ事必然である。

東京高等師範學校教授 文學博士 檜崎淺太郎著

四版 兒童精神的研究 定價四圓八拾七錢 送料貳拾七錢
三版 選拔法概論 定價五圓五十錢 送料金拾五錢
一般素質検査法の試み 定價六圓 送料貳拾七錢
檜崎淺太郎著 文學博士 三版 選拔法概論 定價五圓五十錢 送料金拾五錢
佐藤良一著 刊新教育統計法概要 定價金拾八錢 送料金拾八錢

文學士 朝日直樹著刊

行動主義心理學

定價四圓五十錢 送料十八錢

本書は内省心理を從來感覺より始むべきを反射反應なる解釋を爲す。

廣島高等師範學校教授

文學博士 久保良英先生新著

菊判全一冊紙數六百頁插圖貳百餘
定價金 六圓 送料金廿七錢

最新刊

實驗心理學精義

復雜なる
行動篇

讀め——最近
異常に進步
せる我心理
學界を最も
有意義的に
具體化する
一大金字塔

三版 簡單なる行動篇
久保博士の實驗心理學精義は蓋し學界の至寶である。日本唯一の施設兒童研究所を創設し鋭意研究として、實驗心理學の檢討に餘念なき著者は前篇簡單なる行動篇に對し復雜なる行動篇として本書を世に問ふ、即ち注意、識得、辨別、敘述と報告、聯想、記憶と學習等各章目の下に、その後の研究實驗の報告發表なるが、その編纂方法として前篇同様、質的量的兩者交互に説叙して決つた問題の之れを未決の問題とし、法として且つその結果相背馳せるもの、對しては決つた問題の之れを未決の問題とし、一貫純正なる學者の立場より世界のものに對しては決つた問題の之れを未決の問題とし、到懇切に詳述せるものなるを以て其の最新學說の充實せる事は言を俟たず、且つ本著述の最も特異とする所の研究發表が、唯學校教育家、軍隊、工場管理者等に止めず、實際的應用方面に多大の意を注ぎたる點で、學校教育、軍隊、工場管理者等に止めず、の集團的當事者に取つても必ず學理的指針として貴重なるものである、如く關係者の外文檢受驗者の必讀すべき資料たり必讀を乞ふ。

上野先生
文學博士
一著

兒童心理學精義

增訂
十版

菊紙挿定
全數七
一冊百
洋頁五
綴餘十
錢拾八
錢拾貳

上野先生心理學研究會を創設し斯學を研究する正に十年その學に忠實なる世既に定評あり今學界の等しく渴望して止まざりし本書は成
れり本書は二十三章幾百節に分ち詳諸精銳を加へ多數の挿畫を以て學者研究の材料に資すべく努めたる斯界唯一の良參考書なり學校教
育者は必讀を乞ふ就中文檢受驗者は是非精讀研究すべき絶好の受驗資料である。

發行所 東京市牛込區 中野區 文庫書店 電話 三三三 三八二 七五番 東京市牛込區 九丁目 甲 九番 地



ベスタロッツチの「孤兒教育」の圖

ベスタロッツチの額面繪頒布

油繪原色版 (縦一尺三寸
横一尺八寸)

定價一圓五十錢

ベスタロッツチは現代教育學の父として、又初等教育制度の創始者として、苟くも教育に關係ある者の必ず記憶する名であります。圖はベスタロッツチの有名な「スタンツの孤兒教育の圖」で、原畫は瑞西チユーリツヒ博物館所藏、グロイブ・ムントフエン原作、我國洋畫壇の泰斗八木熊次郎畫伯、先年歐米漫遊の砌、ベスタロッツチの人格を慕つて親しくスキスに赴き、原畫につきそのまゝ模寫歸朝せられたるを今回フレールベル館に托して原色板に複製公表せられた珍しい額面繪であります。各園一幅御掲揚を御勧め申上げます。

ベスタロッツチは一七九八年十二月、祖國政府の懲遇によつてスタンツ孤兒院長となり、年來の抱負經綸を傾けて新教育施設を編み出しました。圖は師が孤兒に圍繞せられた團圓の親しい光景であります。

額繪の裏面には詳しい解説と、ベスタロッツチ年譜とが附録せられてあります。

發賣所

東京・神田・一橋通(帝國教育會館内)
株式會社 **フレールベル館**

電話九段三四五・三六三・三六三八
振替東京 一九六四〇

昭和四年五月十五日第三種郵便物認可
(特 月 一 回 十 五 日 發 行)

昭和四年八月十二日印刷納本
昭和四年八月十五日發行

定價三十五錢